2000 2001 2002 2003
2004 2005 2006
2007 2008
2009

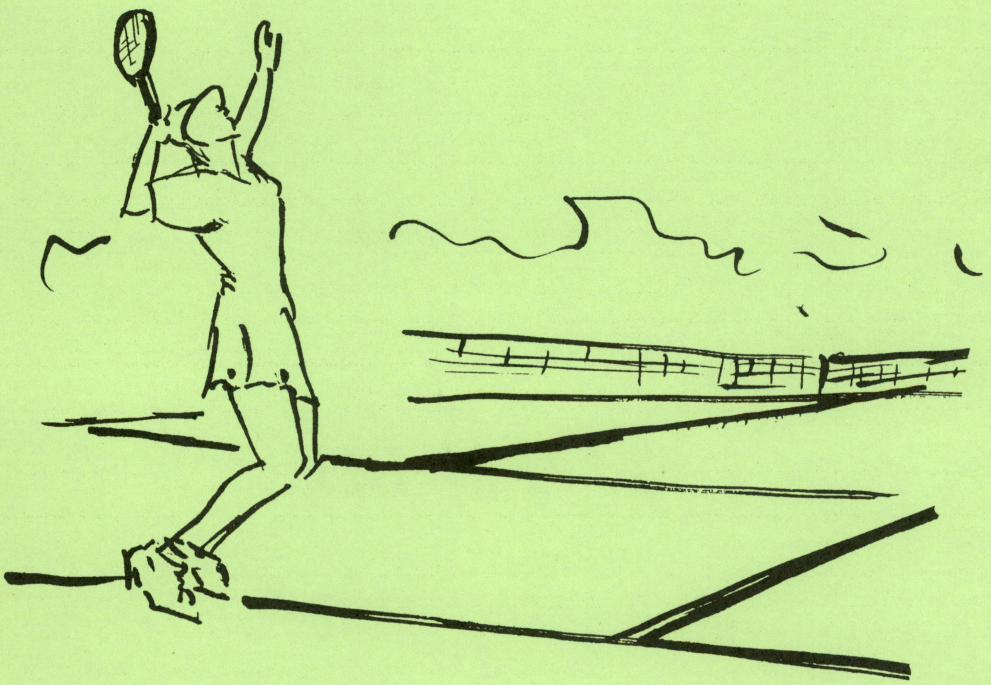
鈴鹿テニス協会40周年記念誌

SUZUKA TENNIS ASSOCIATION

鈴鹿テニス協会編

球趣

テニスを楽しみ健康になれ
行き交う球に友情を温めよ
この一球を真剣に打て
フェアプレーを身につけよ
コートマナーを正しくせよ
規則を守りいつもベストを尽くせ
立派なスポーツマンになれ



OHSUGI.

目　　次

ごあいさつ

鈴鹿テニス協会会長　中川正春 …… 1

祝　　辞

鈴鹿市長　川岸光男 …… 2

三重県体育協会副会長
鈴鹿市体育協会名誉会長　向井弘光 …… 3

鈴鹿市体育協会会長　熊沢逸雄 …… 4

三重県テニス協会会長　川崎二郎 …… 5

三重県テニス協会理事長　角由信 …… 6

鈴鹿テニス協会創立40周年にあたり

三重県テニス協会副会長
鈴鹿テニス協会顧問　大谷光司 …… 7

鈴鹿テニス協会副会長　浜辺昭雄 …… 8

鈴鹿テニス協会理事長　伊藤三雄 …… 9

鈴鹿テニス協会のあゆみ（写真で見る10年） …… 11

テニスエッセイ …… 23

大会結果記録（過去の歴史を追って） …… 27

郡市対抗を振り返って …… 63

全国大会での活躍（表彰制度の紹介と表彰者一覧） …… 68

40周年記念表彰（功労者紹介） …… 71

協会／クラブ紹介 …… 73

協会加盟団体名簿 …… 94

40周年記念事業 …… 98

≪協賛広告≫

ご　挨　拶

鈴鹿テニス協会会長
中　川　正　春

鈴鹿テニス協会の設立40周年を心からお慶び申し上げます。

この40年間、各役員や加盟団体の皆様が協会のためにご努力をいただき、今や加盟団体は30周年の頃からさらに増加し、53団体、会員約1,100名を数える大所帯となり、県下でも高位の会員数を誇る協会として成長を遂げてきました。
協会を支えてこられた歴代の役員や会員のひとかたならぬご苦労、ご尽力に対し、改めて深い敬意と感謝を表します。

近年、社会の複雑化などで、健康で活力のある充実した人生を送ろうとする意識が高まっています。健康づくりや仲間づくりを進めるうえで、テニスはまさにそれにふさわしいスポーツであります。スポーツとしての楽しさ、厳しさを体験する中で心身を同時に鍛えるスポーツであり、一方で、ダブルスなどパートナーとより良い関係を築くことで豊かな交流や人間関係の構築につながる意義の深いスポーツです。

当協会の加盟団体は、一般の職域男子、家庭婦人を中心とした女子や学校（大学、高校、中学校）のテニスクラブからなっています。中学生等ジュニアを取り巻く環境は厳しくなっていますが、テニスの競技力を高めていくためには、中学生を中心にジュニアの養成が重要であります。また、裾野を広げていくために、テニスの楽しさを体験していただくことや、高齢化が進展する中で、高齢者がテニスに親しむ機会を設けることも重要です。さらに、これらの取組の推進を図るためには、指導する人材の確保養成も急務であります。こうした観点から、当協会としてジュニア選手の養成・強化やテニスの普及活動、指導者養成講習会などを柱に取り組んでこられています。

今後も協会の会員の皆様が真摯に腕を競いながら、明るくテニスを楽しんでいただく中で、協会を大いにもり立てていきたいと存じます。私自身も会長として、当協会の更なる発展、隆盛に向け全力を挙げて邁進してまいります。皆様方のご協力を切にお願い申し上げご挨拶といたします。

祝　辞

鈴鹿市長
川岸光男

このたび、鈴鹿テニス協会が発足40周年を迎えられ、ここに記念誌を刊行されますことは、まことに意義深いことであり、協会関係者の方々のご尽力に感謝申し上げますとともに、心よりお祝いを申し上げます。

貴協会は鈴鹿市におけるテニスの普及・発展、体力の向上とスポーツ精神を通じて品性修養を図ることを目的として40年前に結成され、これまでに鈴鹿選手権大会をはじめ、各種大会の開催や県大会の運営、また全国大会への選手の派遣など様々な活動を実施され、鈴鹿市の学校体育・生涯スポーツの振興に多大な貢献を残していただきました。このことに対しまして、心より敬意を表するとともに感謝の念でいっぱいでございます。

また、ジュニアから成年選手の競技力向上及び指導者育成に関する様々な活動を繰り広げられており、本市のテニスの普及促進に、貴協会に対する期待は、誠に大きなものがございます。

さて、昨今の少子高齢化や情報化の進展など私たちを取り巻く社会環境が急激に変化する中で、スポーツは健康の保持増進や地域のコミュニティーを形成していくためには欠かせないものであり、その役割も益々大きくなってきております。

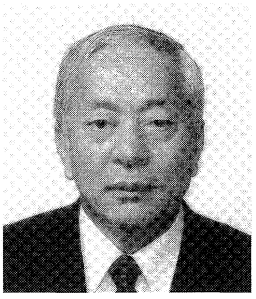
本市では「鈴鹿いきいきスポーツ都市」を宣言し、市民一人ひとつのスポーツの実現を目指し、生涯スポーツの振興に努めております。

そして、子どもから高齢者の方までが、様々なスポーツを行い、スポーツを通じて地域住民の交流の場が作られることが非常に大切なことであると思います。

貴協会におかれましても、このようなスポーツを通じて世代間を超えた交流の場を提供していただくとともに、世界を舞台に活躍できるたくましい人材育成のためにもお力添えをいただき、鈴鹿市のスポーツ振興にご協力賜わりますようお願い申し上げます。

最後に、40年の確かな歴史と伝統を回顧し、記念誌の刊行にご尽力を賜わりました関係者の皆様方に深く敬意を表しますとともに、貴協会の益々のご発展をご祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

鈴鹿市テニス協会のさらなる飛躍（50周年）にむけて



三重県体育協会副会長
鈴鹿市体育協会名誉会長
向　井　弘　光

向夏の候、鈴鹿市テニス協会の発足40周年を迎え、中川会長、伊藤理事長を中心に関係各位のテニス普及発展並びに、スポーツ振興にご尽力を賜わっておりますこと厚くお礼申し上げますとともに、40年間にわたり、鈴鹿市の発展にご尽力をされ、協会活動を通じ築かれた功績は誠に大きく敬意を表するものでございます。

国におきましては、スポーツ省の設置等、スポーツへの新たな取組みについて検討がされておりますが、スポーツ力の向上に大きな期待をしているところでございます。

また昨年は北京オリンピックにおいて日本人の活躍やノーベル賞を日本人4名が受賞など明るい話題も多くありましたが、アメリカ発の金融破綻・不安による100年に一度といわれる世界同時不況になり大きな社会問題が発生しました。この厳しい経済情勢のなか、スポーツの健康で明るいスポーツ社会の必要性はより切実さを増しております。

そのような中、三重県体育協会・鈴鹿市体育協会は、皆様方のご協力により諸事業が着々と推進されていることは皆様方のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

さてテニス競技は、子供から高齢者まで幅広い年代でできるスポーツとして、一生涯に渡って親しむことができ、体力の向上や精神的なストレスの解消、生活習慣病の予防などを目的としてスポーツ人口も増えているとお聞きしております。

世界では、杉山選手や車イスの国枝選手の活躍が大きく報じられておりますし、いまテニス四大大会のひとつ「全仏オープン2009」が開催されておりますが、再度挑戦をされた38歳のクルム伊達公子選手の試合をテレビで拝見いたしましたが、その活躍は皆様にも感動を与えたのではないでしょうか。

会員の皆様におかれましては、日頃の厳しい練習の成果を十分に発揮され、小学生や中学生の大会での活躍等、競技力の向上にも力をいれておられます。高校総体三重県大会や三重国体で活躍できる選手の育成に、今後ともご尽力をお願い致したいと存じます。

最後に、鈴鹿テニス協会の役員や会員の皆様の活躍に心から敬意を表しますとともに、今後益々のご発展とご健勝を祈念申し上げましてご挨拶といたします。

さらなる飛躍を！

特定非営利活動法人鈴鹿市体育協会会長
熊　沢　逸　雄

鈴鹿市テニス協会が設立され、数々の実績とともに、ここに創立４０周年を迎えられましたことは、誠に意義深いことであり心からお祝い申し上げます。

また、今日までの協会関係者の皆さまのご苦労とご努力、活動に心から感謝を申し上げます。

体育協会も昭和２３年に設立され、今日まで本市のスポーツ振興推進の大きな原動力となっておりますが、ご承知のとおり平成19年８月に『特定非営利活動法人』を取得し、会員の皆様による運営をめざし、現在、３０加盟競技団体、鈴鹿市スポーツ少年団，中学校体育連盟，高校，大学，地元企業などを会員とし，新たなスタートをいたしました。

その間，皆様のご協力により諸事業が着々と推進できますことは、皆様方のご支援の賜物と心からお礼上げます。

さて、近年、市民のスポーツ活動や健康増進への関心が高まる中で、技術の向上はもちろんでありますが、生涯スポーツとしてテニスを広く市民の中に普及されてこられた貴協会の活動は大変意義があるものと確信いたしております。

このことは、市民の余暇の楽しみ方や健康づくり、しいては今後の活気あふれる鈴鹿の街づくりに大きな影響を与えるものと思っております。

国におきましても，スポーツ庁の設置やスポーツ振興法の見直しなど，スポーツへの取組が活発化してまいりました。また，鈴鹿市では第２次スポーツ振興計画を策定し，新たな取り組みが始まっております。

そのような中，鈴鹿テニス協会の皆様方は、今後とも中川会長を中心に，テニスの普及発展並びに体育向上とスポーツ精神を通じての品性の修養にご尽力を賜りたいと願うものであります。

スポーツの楽しみ方は人それぞれであり，また生涯にわたって親しめるものであり，多くの市民の方々にもスポーツを通じて健康で、調和のとれた充実した過ごし方をしていただき、「鈴鹿いきいきスポーツ宣言都市」にふさわしい、スポーツを通じた街づくりに体育協会といたしましても鋭意努力をしてまいる所存でございます。

最後に、鈴鹿テニス協会の役員や会員の皆様の活動に心から敬意を表しますとともに、この４０周年をひとつの契機とされまして、貴協会のさらなる飛躍と益々の発展を祈念申し上げましてお祝いのごあいさつといたします。

ご 挨 拶

三重県テニス協会会長
川 崎 二 郎

鈴鹿テニス協会が40周年を迎えられますこと心からお祝い申し上げます。

お祝いの言葉をとお話を頂き、40年前を思い出しながら、楽しく書かせて頂いています。

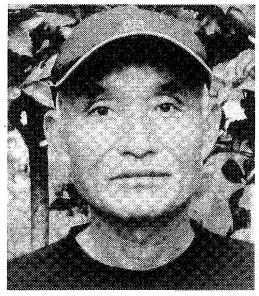
40年前というと、私自身大学生の頃であり毎日テニスに明け暮れていました。慶應のクラブの山中湖での合宿、軽井沢テニストーナメントでのコート管理を兼ねながらの試合出場、神宮外苑テニスコートに毎日通ったことなど楽しい思い出ばかりです。

ウッドのラケットから、スティール製に替わろうとしている時代で、同期の坂井、神和住選手がウィンブルドン等の国際舞台で活躍しようとしている時でした。学生時代は毎日6～8時間、ボールを打つことが楽しく、目標をもって練習に打ち込んだ毎日でした。30才を越えた頃からは、年々動きが悪くなり、腕も落ちていくのを感じながら、健康の為、月1回のテニスが目標でした。最近は年に5、6回まずケガをしないよう楽しく、またいつまでも続けられるかが課題となってきました。学生時代からの友人もテニスを続けているのが3人に1人となり、たまに会うと昔話しに終始するようになってきました。

鈴鹿テニス協会が40年の節目を迎えるにあたり、1人1人の歩んできたテニスライフを振り返り、色々な試合やイベントを思い出しながら、あの時は良かった、あの時は残念だったと話に花を咲かせて下さい。同時に世界のテニスのことと日本人選手の活躍の夢、三重県・鈴鹿のこと、ジュニアの育成の事等、楽しい話しをして下さい。

素晴しいテニスコートを持ち環境に恵まれた鈴鹿テニス協会のご発展をお祈りし、ご挨拶と致します。

祝　辞



三重県テニス協会理事長
角　由　信

鈴鹿市テニス協会、発足４０周年おめでとうございます。

私が鈴鹿市テニス協会の方々と知り合ったのは、鈴鹿高専の浜辺先生が最初でした。私が、三重県テニス協会の会計をしていた時の県理事長でした。そして、大谷光司先生には副会長として、また鈴鹿市テニス協会理事長の伊藤三雄さんには普及委員長として、三重県テニス協会の発展に大きく貢献していただき現在も、その任をしていただいています。さらに、川出喜則さんには会計委員長として、河本美代子さんは常務理事、勝田成仁さんは理事、藪内良子さんは監事、中西利雄さん、山中義輝さんには普及委員として、鈴鹿市テニス協会の関係の方々には三重県テニス協会の重要かつ、貴重な戦力になっていただいています、以上の方のほか、鈴鹿テニスガーデンの地元と言うことで、多くの方々に大会運営等で御協力いただいております。

鈴鹿市は地理的に三重県の中心部に位置し、鈴鹿ガーデンテニスコートもあるので、必然的に県テニス協会としては、皆様方に御協力いただく構図になります。今後ともいろいろお世話になるかと思います。僭越ながらこの場をお借りして、お礼とお願いをさせていただきます。

以上、「記念誌」の祝辞として、相応しいかどうか分かりませんが、県テニス協会の私から見た、鈴鹿市テニス関係のことに触れました。

最後に、私の選手としての思い出を・・・

鈴鹿市営テニスコート（鈴鹿市体育館横）では、県社会人新人戦、中勢選手権、秋の鈴鹿市選手権など、たくさん、試合に出さしていただきました。自分としては成績も良かったと思いますが？極めつきは、県教職員大会で、両足が痙り、救急車で近くの病院に運ばれたことです。その時腹の筋肉まで、ピクピクして痙りかけ、当時運営していた鈴鹿高校の石黒先生にこのままでは、心臓まで痙攣して死んでしまうと脅されました。

鈴鹿市テニス協会の４０周年を心より、お祝いするとともに、今後の益々の発展を祈念して私の挨拶とさせていただきます。

40周年記念によせて

三重県テニス協会副会長
鈴鹿テニス協会顧問
大　谷　光　司

鈴鹿テニス協会の40周年記念まことにおめでとうございます。

振り返れば長いようで短い10年のスパン、懸命に運営に当てられた役員や加盟団体の皆さんに敬意を払いながら、私も仲間に入れていただきお礼を申し上げます。

三重県の協会も今年の総会で会長が替わりましたので、この機会に私のほうが年長でもあり交替のお願いをしたところ、あと一年お世話になることになり、来年は鈴鹿枠の副会長を推挙したいと思います。

市営コートの面整備が2代の市長にわたりましたが、完全に終了して天候にあまり左右されない利用が可能になりましたが、申込貸出し方法など利用者サービスの向上と、簡素化など、固定の利用団体に対しては、年間通しの申込を提案しているところいまだに解決されていません。

引き続き経費節減と、無駄な時間浪費の節減をしていきたいと思っております。

強いテニスの指向と底辺の拡大は、私たちに課せられた大きな課題であります。スポーツ都市宣言にふさわしい鈴鹿とするためには、人づくり、施設づくりとともに三者協力の妙が発揮されなくてはなりません。

今ここに、40周年を迎えたテニス協会の実績の上に立って、社会や教育の荒廃を改めてたくましい身体、たくましい心を育てるために好きなテニスが時代のニーズ、現代の病理に迫る気概が生まれることを期待したいことしきりであります。

50周年に向けた更なる進展をご祈念申し上げます。

40周年記念誌に寄せて

鈴鹿テニス協会副会長
浜　辺　昭　雄

今年は鈴鹿テニス協会発足４０年になる記念すべき年です。思えば１９７０年に三重県テニス協会の、地区協会の一つとして発足して以来、鈴鹿テニス選手権大会をはじめとする各種大会、普及強化活動を協会役員、加盟団体の協力の下に、年々活発に実施してきたことは、大変喜ばしいことです。

１０年前に、伊藤三雄理事長のリーダーシップのもとで、協会活動の３０年間を総括して、３０周年記念行事と記念誌発行を行ったことは、まだ記憶に新しく、昨日のことのように感じています。そして今年は早くも記念すべき４０周年を迎えました。今回も引き続いて、伊藤三雄理事長のリーダーシップにより記念行事が行われることになり、私にとっては「光陰矢のごとし」の１０年間でしたが、理事長の日々の尽力に深甚の感謝を表し、また、多数の加盟団体の協力と、種々の行事を推進されている役員の努力と、ご苦労に心から頭の下がる思いです。

私は２０歳前にテニスに出会い、会社員、高専テニス部の部長として、現役の４０年間をテニスプレイと指導に打ち込み、年金生活者となった現在も引き続いて、テニスを楽しみ、相変わらずテニスコートを前後左右に走り回れる健康に感謝しています。

また、鈴鹿テニス協会の活動にも、テニス教室のコーチの一員として、普及活動に携わり、主催大会の一つである、鈴鹿オープンの運営団体長として、大会を盛り上げていくよう運営委員の一端をになっています。

鈴鹿テニス協会は、創設以来、関係者の協力により発展を続けてきましたが、今年の４０周年に当たり、まずは、自分が健康で、次の５０周年に向けて活動を続けていく努力をしたいと決意しています。今後も、協会役員の一員として、微力ながら役割分担を全うして、理事長、各委員長をはじめとする事業推進者に協力して、鈴鹿テニス協会の、ますますの発展を実現していきたいと念願しています。

40周年を迎えて

鈴鹿テニス協会理事長
伊　藤　三　雄

このたび鈴鹿テニス協会が、40周年を迎える事が出来ましたことは、関係機関のご理解と役員の方々のたえまないご尽力と、協会会員皆様のご協力の賜と深く感謝をするしだいです。その間理事長職を引き継ぎ10年がたちましたがあっという間に過ぎた感じがいたします。

当初協会の課題としましては、一つめは子供ジュニア教室が一過性に終わらないようにと継続できるチームづくりの確立を行い、鈴鹿市より全国に通じるジュニア選手の育成を目指す事、二つめは、地域に根ざすテニス活動でテニス人口を増加させる行事を行い活性化を図っていくことでした。

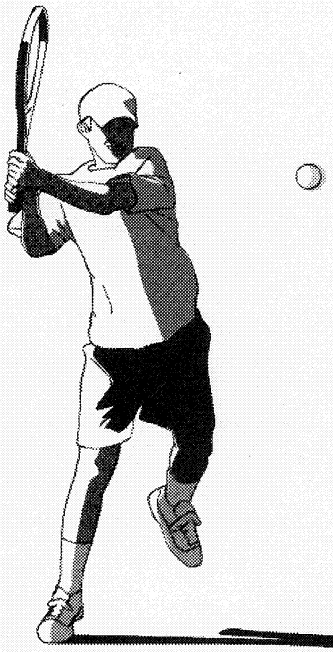
この10年間で取り組んで来た事は、それまでの一般スポーツ教室の他にジュニア部門を開設しその継続と小中一貫ジュニア強化育成として鈴鹿ジュニアチームを結成し、選手育成に向けて年間を通じて3回/週、協会指導員総出での指導活動を実施するようにしました。その結果現在は協会を上げた一大事業にまで成長をしています。毎年入れ替わりがありますが平均50数名のジュニアがこのチームに所属し活動をしています。

また、技術指導だけに終わることなく夏休みには一泊二日で夏合宿として集団生活の中で規律マナーも体得出来る行事も行うようになりました。このように、ジュニアの底辺が拡大すると共に身近に小中学生が出場できるジュニア大会を企画し、夏休みはサマージュニア、冬休みはウインタージュニアの2大会を開設し近隣の小中学生が試合に参加しやすい環境を整えました。この大会をさかいに、ジュニアの登録者の増加また民間テニスクラブも幾つか増設された事も影響し徐々に大会が盛り上がるようになってきました。

こうして鈴鹿市全体のジュニア指導が総結集された結果、2007年度千代崎中学、2008年度白子中学、2009年度千代崎中学と3年連続鈴鹿市から全国中学テニス大会に出場する結果を出しています。個人戦においても全日本小学生大会、東海ジュニア大会、全日本ジュニア大会単複と出場、入賞する選手も輩出されるようになってきています。

もう一つの課題は、テニス人口の増加を目指すことでしたが、当初は42団体の登録団体で現在は53団体までに増加をしています。技術向上を目的として2年に1回の著名プロ選手を招き地元で身近に受講可能としたこと。また、各大会に中高年の選手が出場できる45歳と55歳OVの試合を設けた事。これと長年継続しているテニス教室の開催と生涯テニスを支える普及事業、競技志向を支える主たる大会の継続、と地道な活動が結果に現れたといえるでしょう。

今後さらなる飛躍をとげるため生涯テニス愛好家の普及と地元ジュニアの強化、その基盤を活かし地元鈴鹿市から全国、世界へと羽ばたく選手を輩出できるよう関係機関、役員一同、会員皆様と協力をして取り組んで行く所存ですので宜しくご協力をお願い致します。



鈴鹿テニス協会のあゆみ

理事の紹介

普及部

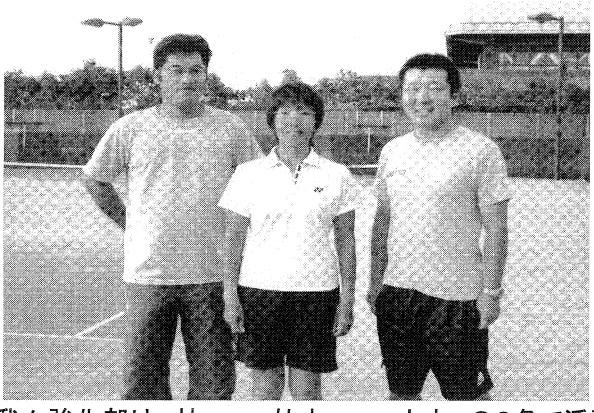
我々普及部は、中西、中西、 川出、の3名で活動しています。

普及部の主な、活動内容は

1. 普及大会を開催
2. テニス教室の開催(春季・秋季)
3. 鈴鹿市の依頼による、一般・シニアのテニス教室への協力

これからも、テニス普及の為頑張ってまいりますので、ご支援お願いします。

強化部



我々強化部は、林、 竹中、 山中 の3名で活動しています。

強化部の主な、活動内容は

1. ジュニア選手の強化練習会開催(小・中・高校生)
2. 郡市対抗試合の練習会実施
3. 鈴鹿ジュニアチームでの指導・推進
4. 指導者研修会及び一般講習会(隔年実施)

これからも、選手強化に向かって頑張ってまいりますので、ご支援お願いします。

理事の紹介

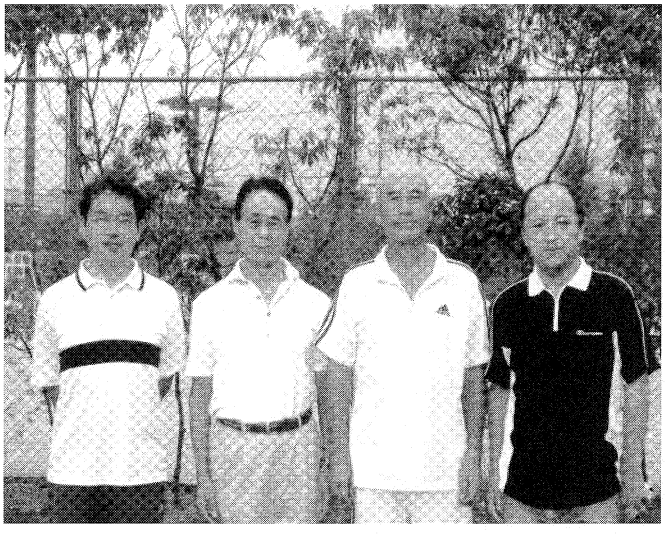
運営・広報委員会

運営委員会としましては、鈴鹿テニス協会主催大会等の計画を年間12試合を立てています。大会運営に関しましては、協会の主たる登録団体にお願いし、運営委員会と協力して実施しています。

また、協会ホームページでの大会要綱や結果の掲載、大会申込みについても、当委員会が行っています。

今後も大会の充実はもちろん、ホームページでの情報発信を積極的に行っていきたいと考えていますので、皆様のご協力と大会参加よろしくお願いします。

委員長　勝田　成仁
大杉　順
今村　幸司
柴垣　寛治



左から　柴垣、大杉、今村、勝田

写真でみる10年

▼市営コート人工芝改修：2003年

▲郡市対抗男子総合優勝：2005年

写真でみる10年

▼ プロ講習会（安宅美弥子プロ）：2007 年

▲ プロ講習会（佐藤哲也プロ）：2009 年

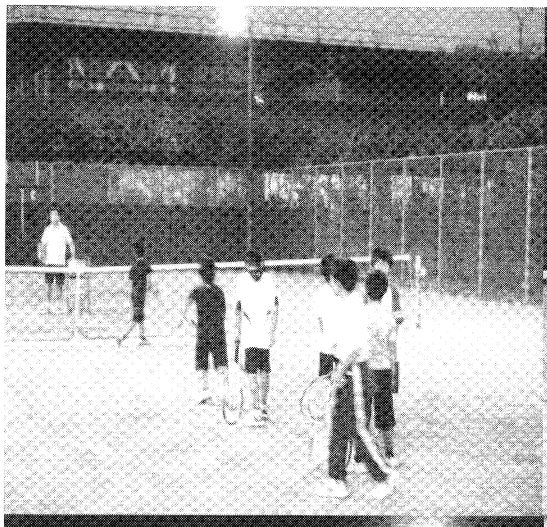
写真でみる10年

▼鈴鹿ジュニアチーム夏期合宿：2008 年

▲鈴鹿ジュニアチーム夏期合宿：2009 年

写真でみる10年

▼鈴鹿ジュニアレッスン風景　①：2009年



写真でみる10年

▼鈴鹿ジュニアレッスン風景　②：2009年

写真でみる10年

▼第 34 回 全国中学生テニス選手権大会　　●千代崎中学校出場：2007 年

▲第 35 回 全国中学生テニス選手権大会　　●白子中学校出場：2008 年

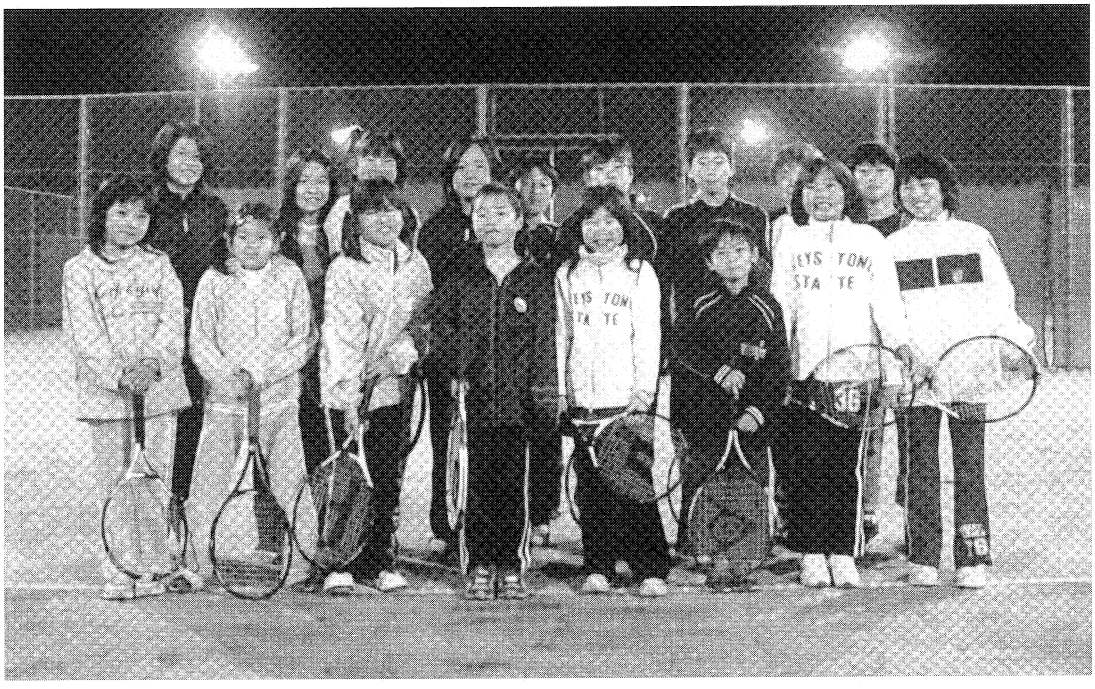
写真でみる10年

▼第 36 回 全国中学生テニス選手権大会　　●千代崎中学校出場：2009 年

▲テニス教室　一般の部：2009 年春季

写真でみる10年

▼テニス教室　ジュニアの部：2009年春季

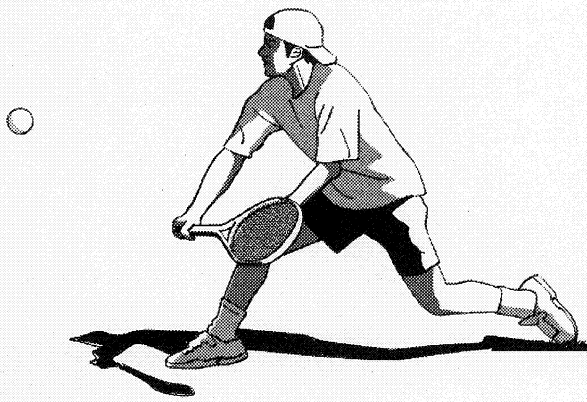


▲テニス教室　ジュニアの部：2007年秋季

写真でみる10年

▼正月市営コート開放　①：2007年

▲正月市営コート開放　②：2007年



TENNIS ESSEY

TENNIS ESSEY

私とテニス

井口　健

鈴鹿テニス協会創立40周年おめでとうございます。

さて，私がテニスと出逢えたのは1978年（昭和53年）。友人に誘われたのがきっかけでした。当時は現在の天皇陛下と皇后陛下が軽井沢でテニスをされテニスブームが世の中に一世風靡されました。各市や町にたくさんの民間テニスクラブが出来て生活の中にテニスが普及されてきたことが懐かしく思い出します。

“好きこそ物の上手なれ”の言葉から私は我を忘れてテニスに夢中になりました。当時の東洋紡玉垣工場（現在鈴鹿医療科学大学）鈴鹿テニス協会のテニス教室にも受講して技術を教わりました。民間のテニスクラブ（ＳＴＡ）のメンバーになり，テニス仲間がたくさんできました。幸い親からもらったたくましい体力，精神力は，テニスと出会えるまでは野球漬けだったので，プラスになったと思います。

4年目にして県社会人新人戦（Ｓ）にてベスト4になった事が大きく自信になりました。当時の出場人数は300名がエントリーしていました。それからは年間約20大会の試合に参加した事を今では懐かしく記憶に残っています。

やがて，実力と自信と共に夢であった大きな目標であったのが国体出場です。当時は一部男子，二部男子（壮年45歳）があり，アマチュアプレーヤーなら一度は出てみたい夢の舞台の目標に向かって日々練習を重ねました。1993年に愛知わかしゃち国体に47歳にして三重県代表二部男子（壮年45歳）として栄冠を勝ち取ることができました。まさか自分がこの夢の舞台に立てるなんて。もうれしくて，うれしくて感激しました。

それからのテニス人生はますます楽しくなり，全国ベテラン大会本戦出場を果たし目標としていた夢が現実となりました。

テニスを長くやって来て良かった，そしてテニスを通じてたくさんの仲間から色々な事を教えてもらいました。私の持論は“初心を忘れべからず”。

プレーヤーと平行して指導者としても今までたくさんの方にテニスの楽しさを指導して現在も継続しています。

鈴鹿市は素晴らしいテニス環境に恵まれています。テニスコート約50面位ありますが，残念ながらまだまだテニス愛好者が少ないですね。老若男女問わず，ジュニアの育成にもシニアの愛好者をもっともっと増やす義務，責任が我々には

あります。

最後になりましたが，今日まで現役でテニスが出来るのは，協会関係者の方々や家族や仲間のお陰です。本当に感謝の気持ちで一杯です。鈴鹿テニス協会のますますの発展を祈念いたします。

TENNIS ESSEY

で・あ・い

JLTF 三重県支部 支部長　　河本　美代子

学生のころはバスケットボールをして，山登りに夢中になり，ママさんバレーを頑張り，いろいろなスポーツに親しんできました。

そして，白髪のご夫婦のラケットから奏でる音，流れるようなゆったりしたフォームからにじみ出た品の良いテニスプレーに出会い魅せられて 30 年余り。当時，コートはグリーンサンド，ボールの色は白でしたが，砂入り人工芝コート，黄色のボールに慣れて久しくなり，考えてみればいつの間にやら私の人生の三分の二がテニスライフになってしまいました。

テニスが何よりもすばらしいと思えるのは，対戦相手を信じるスポーツで，その代わり自分も正しく判断して戦うことが求められ，コートを挟む選手同士の人格が問われるスポーツであること。これからもただ単に歳をとっていくのではなく歳を重ねることによって，人格的に成熟し心のゆとりを持ってテニスワークに，また，出会った事を大切にして臨んでいきたいと思います。

40 周年を機に，これからも鈴鹿テニス協会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

TENNIS ESSEY

私のテニス回顧録

大石　敏男

会社に入って７年目、先輩からテニスをやらないかと誘いを受けてみたのが私のテニス人生の始まりです。以来テニス中心の生活が始まり、民間のテニスクラブでレッスンを受講し、それにも飽き足らずクラブに来た人を見つけては練習をお

願いしていました。誰もいない時間帯では壁打ちをやりながら人が来るのを待っているほど、テニスにのめりこむ毎日でした。
鈴鹿テニス協会にお世話になったのは、結婚して住所を鈴鹿に移してからで、当時鈴鹿の代表的選手は現理事長の伊藤さん、ＳＴＣコーチの山崎さん、爽球会の北川さん、井口さんでした。これらの名選手に打ち勝つのを目標に、数多くテニス協会主催の試合に出させてもらい試合を通じて、たくさんの友人を得ることができ自分のかけがえのない財産だと思っています。
一時期は参加数の減少で盛り上がりの少ない大会が目立ちましたが、近年ジュニア育成の効果（？）でジュニアの参加数が多くなり活気が出てきました。しかし、一般の方の参加が増えなければ本当の盛り上がりに欠けると思います。
私もまだまだ老体にむち打って出来る限り出場したいと思っておりますので、皆さんも参加して上位入賞を目指し大会を盛り上げて行きましょう。

TENNIS ESSEY

やはりジュニア指導に想いを馳せて～

鈴鹿テニス協会理事　大杉　順

光陰矢のごとし～、時の流れの早さを感じる今日この頃です。
思えば鈴鹿テニス協会30周年もあっと言う間に過ぎ、鈴鹿テニス協会も40周年の節目を迎えます。30周年記念誌のときには、「ジュニア指導に想いを馳せて」のテニスエッセイを「いつも暑い夏が来ると、全日本ジュニア選手権大会、全日本中学生選手権大会に向けて無我夢中で取り組んでいた時のこと～」を書かせていただきました。

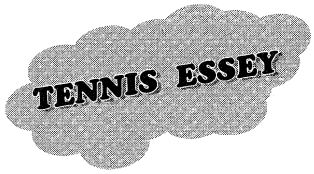
今回、この40周年記念表彰の対象者としてのテニスエッセイを書く羽目になりました。たいへん光栄なことで身にあまる思いです。

大谷顧問、浜辺副会長とは、一緒に鈴鹿テニス協会の発展のため、それぞれの立場で取り組み苦労した方々であり、いろいろご指導をいただき、この場をお借りして感謝を申し上げたいとおもいます。とにかく県民体育大会で優勝すること。そして全日本ジュニア選手権大会、全日本中学生選手権大会を目指して東海代表として毎年出場すること。大東紡績のバレーコートをお借りして仮のテニスコートつくりから始め、そしてスポーツセンターでの強化練習の毎日、大谷顧問にお

願いして東洋紡績テニスコートでの合宿など、ジプシーのような練習の毎日でした。コートはない、ボール代はない、ネットはないの悪戦苦闘をしていた頃を、鈴鹿テニス協会40周年の節目に懐かしく思い出してしまいます。

その後、すばらしいジュニアの指導者のもと取り組んでいただいている協会の方々に敬意に表したいおもます。

そして、いまスポーツ界の大切な課題でもあるジュニア育成のあり方を、将来的な大きな視野にたって考えていかなくてはならない時期であろうと思っています。



さらなる環境づくりを…

ＤＲＥＡＭ代表　林　雅之

鈴鹿テニス協会４０周年、おめでとうございます。

ＤＲＥＡＭは試合出場はもちろんですが，試合運営での方が知名度があるかも知れません

現在はオープンミックス大会、サマーＪｒ、ウインターＪｒ大会の運営やお手伝いをしています。そんな私達が、この度表彰して頂く事となり大変光栄に思います。

テニスは生涯スポーツと言われています。手軽に出来るスポーツとして幅広い年齢層の人々に親しまれ、健康、体力の維持増進にも大いに期待出来る事で、高齢化が進む中、その役割が大変重要になってきています。

鈴鹿テニス協会４０周年と言う事で、４０年間でテニスに関する事柄も随分変わって来た事と思います。

その中で、長年にわたりテニスの普及と発展に尽力されてこられた協会の方々に感謝しなければと改めて思いました。

これからも楽しくテニスが出来る環境づくりを続けて下さい。

大会結果記録（過去の歴史を追って）

● 鈴鹿選手権大会

一般男子シングルス

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和45年	第1回	吉村　猛	矢野多津雄			22
昭和46年	第2回	浜辺　昭雄	渡辺　幸照			26
昭和47年	第3回	前田　靖宗	浜辺　昭雄			48
昭和48年	第4回	前田　靖宗	浜辺　昭雄			54
昭和49年	第5回	米田　幸夫	六谷　幸三			66
昭和50年	第6回	伊藤　三雄	薮下　久生			64
昭和51年	第7回	近藤　和男	吉村　猛			62
昭和52年	第8回	吉村　猛	米田　幸夫			67
昭和53年	第9回	近藤　和男	吉村　猛	伊藤　三雄		76
昭和54年	第10回	近藤　和男	米田　幸夫	伊藤　三雄	吉村　猛	99
昭和55年	第11回	白水　徹夫	杉谷　隆之	薮下　久生	志治　良幸	81
昭和56年	第12回	米田　幸夫	近藤　和男	渡辺　武志	長田　孝雄	113
昭和57年	第13回	伊藤　三雄	村田　俊秀	甲斐　雄二	浜西　利彦	140
昭和58年	第14回	伊藤　三雄	村田　俊秀	浜西　利彦	渡辺　武志	122
昭和59年	第15回	伊藤　三雄	米田　幸夫	甲斐　雄二	六谷　幸三	111
昭和60年	第16回	伊藤　三雄	山崎　謙治	薮下　久生	北川　俊秀	129
昭和61年	第17回	伊藤　三雄	井口　健	北川　俊秀	豊田　敬一	99
昭和62年	第18回	井口　健	長田　孝雄	稲垣　義隆	大石　敏男	143
昭和63年	第19回	勝田　成仁	稲垣　義隆	北川　俊秀	井口　健	89
平成1年	第20回	大石　敏男	横田　直樹	伊藤　三雄	山田　晋司	93
平成2年	第21回	北川　俊秀	大石　敏男	谷口　範高	山崎　謙治	62
平成3年	第22回	大石　敏男	谷口　範高	横田　直樹	浜西　利彦	134
平成4年	第23回	大石　敏男	谷口　範高	横田　直樹	北川　俊秀	103
平成5年	第24回	横田　直樹	井上　和男	浜辺　正雄	林　恭史	108
平成6年	第25回	大石　敏男	伊藤　三雄	本田　徳実	横田　直樹	126
平成7年	第26回	大石　敏男	伊藤　三雄	豊田　和己	本田　徳実	106
平成8年	第27回	北川　俊秀	大石　敏男	伊藤　三雄	本田　徳実	92
平成9年	第28回	浜辺　正雄	森川　勝文	勝田　成仁	大石　敏男	88
平成10年	第29回	大石　敏男	清水　邦光	伊藤　三雄	林　恭史	79

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成11年	第30回	大石敏男	伊藤三雄	山本竜彦	林　恭史	63
平成12年	第31回	ロバート、アンジェロ	稲波雄志	森　浩彰	後藤由光	57
平成13年	第32回	大石敏男	森　浩彰	豊田　和己	井口　健	64
平成14年	第33回	勝田　成仁	森　浩彰	平塚　裕一	豊田　和己	40
平成15年	第34回	大石敏男	駒田　吉宏	林　恭史	村上　武久	74
平成16年	第35回	大石敏男	林　恭史	近藤　太一	駒田　吉宏	86
平成17年	第36回	大石敏男	山中　義輝	吉川　翔太	水野　大伸	75
平成18年	第37回	大石敏男	福田　龍雄	長岡　俊樹	内山　道之	106
平成19年	第38回	内山　道之	田垣内乾三	新川　清	河合　智幸	
平成20年	第39回	加藤　仁	大石敏男	岡田　旬史	山中　義輝	64

壮年男子シングルス

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和61年	第17回	浜辺　昭雄	佐藤　行利	山中　博	木村　俊夫	22
昭和62年	第18回	鈴木　堯善	渡辺　好明	市川　敏雄	山中　博	22
昭和63年	第19回	鈴木　堯善	清永　光義	明田　道彦	浜辺　昭雄	21
平成1年	第20回	山中　博	鈴木　堯善	清水　邦光	水谷　高幸	17
平成2年	第21回	薮下　久生	清永　光義	山中　博	鈴木　堯善	12
平成3年	第22回	清永　光義	渡辺　武志	浜辺　昭雄	粟谷　宏治	13
23回大会より参加資格45才以上となる。						
平成4年	第23回	浜辺　昭雄	佐藤　行利	粟谷　宏治	清永　光義	16
平成5年	第24回	浜辺　昭雄	清永　光義	伊熊　貞男	粟谷　宏治	8
平成6年	第25回	浜辺　昭雄	清永　光義	粟谷　宏治	新原　慎一	12
平成7年	第26回	清永　光義	山中　博	斉木　武	浜辺　昭雄	14
平成8年	第27回	斉木　隆信	斉木　武	粟谷　宏治	江藤　正之	10
平成9年	第28回	清永　光義	市川　敏雄	斉木　武	今村　務	9
平成10年	第29回	今村　務	市川　敏雄	斉木　武	森　有人	12

OV45男子

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成11年	第30回	清水光義	市川敏雄	森　有人	平野辰美	7
平成12年	第31回	斉木　武	清水　光義	浜辺　昭雄	木村俊夫	6
平成13年	第32回	伊藤三雄	古市　守利	中嶋　健二	藤浪　実	8
平成14年	第33回	伊藤三雄	斉木　武	浜辺　昭雄	古市　守利	6

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成15年	第34回	伊藤三雄	森　有人			5
平成16年	第35回	伊藤三雄	斉木　武	古市　守利	森　有人	9
平成17年	第36回	伊藤三雄	上田隆司	古市　義秀	浜辺　昭雄	11
平成18年	第37回	伊藤三雄	古市　守利			6
平成19年	第38回	伊藤三雄	若林　篤			
平成20年	第39回	伊藤三雄	田邊　弥二			5

一般女子シングルス

年　度	回	優　勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和45年	第1回	――	――			
昭和46年	第2回	――	――			
昭和47年	第3回	瀬川　明子	林　眞弓			10
昭和48年	第4回	林　眞弓				8
昭和49年	第5回	杉野　早苗	秋元奈緒子			15
昭和50年	第6回	田上　幸代	田中　朱美			10
昭和51年	第7回	田中　朱美	杉野　早苗			10
昭和52年	第8回	杉野　早苗	桜井　京子			15
昭和53年	第9回	梅田　明子	丸橋　孝子			17
昭和54年	第10回	樋口　京子	梅田　明子	酒井真由美	陸　浩子	45
昭和55年	第11回	古田　桂子	中田　郁代	酒井真由美	川村和歌子	28
昭和56年	第12回	宮木　照美	樋口　京子	中田　郁代	古田　桂子	23
昭和57年	第13回	横井ひろみ	三輪由紀子	杉田真起子	梅田　明子	32
昭和58年	第14回	金田充早恵	梅田　明子	梅原　頼子	大日方和枝	18
昭和59年	第15回	梅原　頼子	梅田　明子	大友　和美	三輪由紀子	20
昭和60年	第16回	大角　正美	村木真由美	佐々木泰子	大友　和美	23
昭和61年	第17回	大角　正美	大友　和美	豊田　信子	安中みちる	23
昭和62年	第18回	河本美代子	中西寿恵子	平岡　裕子	細野　香	21
昭和63年	第19回	豊田　信子	野田真須美	湯本　智子	松枝美由紀	20
平成1年	第20回	立石　素子	豊田　信子	後藤由美子	湊　敬子	18
平成2年	第21回	梅田　明子	梅原　頼子	豊田　信子	湊　敬子	14
平成3年	第22回	伊藤　里美	後藤由美子	湊　敬子	ドンナデスーザ	25

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加人数
平成４年	第23回	井上美帆子	出岡　栄子	宝　紀久子	島村　純子	32
平成５年	第24回	藤田　純子	家城美智子	後藤智代美	平見世津子	24
平成６年	第25回	藤田　純子	家城美智子	山田千佳子	後藤智代美	20
平成７年	第26回	稲垣小百合	後藤智代美	藤田　純子	田代　千代	14
平成８年	第27回	島村　純子	藤田　純子	後藤智代美	田代　千代	19
平成９年	第28回	後藤智代美	田島　雅美	岩崎ゆみ子	藤田　純子	23
平成10年	第29回	家城美智子	小木曽有紀	田島　雅美	田代　千代	19
平成11年	第30回	後藤智代美	家城美智子	島村純子	福島真須美	15
平成12年	第31回	田島　雅美	後藤智代美	島村純子	大澤恵利子	14
平成13年	第32回	後藤智代美	大澤恵利子	竹中真寿美	田代　千代	16
平成14年	第33回	松田　尚子	服部　なな子	田代　千代	八太　則子	10
平成15年	第34回	伊藤　歩美	豊田　尚子	後藤智代美	米川　基子	14
平成16年	第35回	伊藤　歩美	鈴木真優子	竹代マスミ	大澤恵利子	13
平成17年	第36回	浅野　優子	加藤　寛子	荒木田真希	竹代マスミ	21
平成18年	第37回	中村　晃子	大澤恵利子	小竹裕加里		29
平成19年	第38回	鈴木真優子	寺村眞貴子	浅野　優子	南山　倫子	
平成20年	第39回	浅野　優子	松田　彩花	朝日　詩織	林　久美子	10

OV55男子

年　度	回	優　勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成13年	第32回	市川　敏雄	渡辺好昭			4
平成14年	第33回					
平成15年	第34回					
平成16年	第35回					
平成17年	第36回					
平成18年	第37回	安川　淳	斉木　武			6
平成19年	第38回	渡辺　武志	安川　篤			
平成20年	第39回	渡辺　武志	安川　篤			6

一　般　男　子　ダ　ブ　ル　ス

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
昭和45年	第 1 回	吉村・矢野	石黒・沢井			13
昭和46年	第 2 回	藤牧・平野				9
昭和47年	第 3 回	浜辺・渡辺	矢田・坂谷			17
昭和48年	第 4 回	前田・六谷	瀬良・隅田			37
昭和49年	第 5 回	前田・六谷	伊熊・林			44
昭和50年	第 6 回	米田・米田	六谷・林			39
昭和51年	第 7 回	白水・穴原	浜辺・北條			30
昭和52年	第 8 回	吉村・伊藤	石黒・浜辺			30
昭和53年	第 9 回	近藤・渡辺	六谷・伊熊			56
昭和54年	第10回	吉村・伊藤	米田・米田	田村・矢田	坂本・志治	54
昭和55年	第11回	米田・西井	吉村・伊藤	村田・長田	今村・浜西	51
昭和56年	第12回	近藤・渡辺	白水・長谷	六谷・伊熊	粟谷・鈴木	52
昭和57年	第13回	伊藤・米田	甲斐・薮下	渡辺・田村	米川・斉木	86
昭和58年	第14回	渡辺・浜西	粟谷・鈴木	山中・小林	米川・井口	84
昭和59年	第15回	米田・有竹	渡辺・浜西	長田・北川	薮下・斉木	74
昭和60年	第16回	米田・有竹	伊藤・浜西	藤川・米川	石原・辻	82
昭和61年	第17回	内藤・勝田	山崎・稲垣	長田・北川	甲斐・薮下	84
昭和62年	第18回	伊藤・山崎	大石・浜西	長田・北川	斉木・井口	68
昭和63年	第19回	伊藤・大石	勝田・吉川	井口・斉木	稲垣・森川	50
平成 1 年	第20回	山崎・森川	横田・井口	鈴木・粟谷	渡辺・加藤	61
平成 2 年	第21回	大石・浜西	三岳・堀	横田・北川	谷口・日口	72
平成 3 年	第22回	大石・井上	志治・横田	中島・辻	稲垣・森川	49
平成 4 年	第23回	谷口・横田	長田・山下	上田・北川	井口・西田	58
平成 5 年	第24回	井上・長田	横田・早川	平井・岡本	勝田・吉川	59
平成 6 年	第25回	横田・林	大石・浜西	薮下・北川	井口・斉木	49
平成 7 年	第26回	横田・林	勝田・吉川	古市・安川	西田・今村	55
平成 8 年	第27回	横田・林	西田・須原	樋口・後藤	井口・斉木	49
平成 9 年	第28回	豊田・森	谷川・鈴木	長田・岡田	勝田・吉川	51

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
平成10年	第29回	大石・森川	横田・林	伊藤・水谷	森下・山中	40
平成11年	第30回	大石・森川	樋口・後藤	近藤・鈴木	豊田・山本	39
平成12年	第31回	森下・清水	大石・森川	近藤・堤	高橋・森	48
平成13年	第32回	長田・佐藤	森　・鈴木	伊藤・廣田	勝田・岡田	24
平成14年	第33回	豊田・森川	堀内・岡田	勝田・岡田	長田・佐藤	26
平成15年	第34回	森川・鈴木	森　・谷川	古川・早川	陣田・近藤	42
平成16年	第35回	鈴木・山中	豊田・鶴見	長田・勝田	岡田・吉川	48
平成17年	第36回	池ヶ谷・山中	長田・勝田	谷口・伊藤	若林・峠田	43
平成18年	第37回	川並・水野	橋本・若林	舘　・北野	鈴木・有竹	44
平成19年	第38回	内山・竹中	磯田・岡崎	吉川・世古口		
平成20年	第39回	上瀧・山口	井口・長田	岡田・柳瀬		28

OV45男子

年　度	回	優　勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成13年	第32回	斉木・市川	中嶋・斉木			4
平成14年	第33回	澤潟・森川	山中・江藤	古市・安川	斉木・中嶋	8
平成15年	第34回	斉木・市川	小川・松宮			4
平成16年	第35回	森川・今村	清水・澤潟			5
平成17年	第36回	古市・今井	松宮・田邊	小川・池田	今村・清水	8
平成18年	第37回	古市・岩本	松宮・田辺			4
平成19年	第38回	古市・今井	斉木・岩谷			
平成20年	第39回	古市・今井	渡辺・辻	長谷川・鈴木	山田・北野	8

一　般　女　子　ダ　ブ　ル　ス

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
昭和45年	第１回	池中・村端				2
昭和46年	第２回					0
昭和47年	第３回	遠藤・林				5
昭和48年	第４回	宮本・小吹				6
昭和49年	第５回	杉野・秋元				9
昭和50年	第６回	田上・田中				8

年　度	回	優　勝	準優勝	第3位	第3位	参加組
昭和51年	第7回	杉野・川井				8
昭和52年	第8回	杉野・石渡	田中・岡野			10
昭和53年	第9回	梅田・川崎	岡野・水原			14
昭和54年	第10回	陸　・川崎	三角・三輪	川村・水原	杉田・笹田	18
昭和55年	第11回	横井・犬飼	川名・中田	三輪・三角	川村・水原	15
昭和56年	第12回	三輪・岡野	古田・三角	川村・川名	中田・水原	19
昭和57年	第13回	樋口・梅田	日高・三輪	横井・吉田	河本・佐々木	21
昭和58年	第14回	三輪・渡辺	古田・河本	浜辺・長谷川	早間・海老原	20
昭和59年	第15回	大友・佐々木	伊藤・増井	三輪・河本	大竹・浜辺	16
昭和60年	第16回	河本・後藤	田中・桑野	吉沢・竹嶋	西山・岡田	18
昭和61年	第17回	大角・小竹	中西・佐々木	安中・豊田	河本・厳根	20
昭和62年	第18回	梅田・大友	安中・豊田	中西・佐々木	河本・厳根	14
昭和63年	第19回	梅原・浅田	野田・豊田	梅田・大友	服部・佐々木	20
平成1年	第20回	東口・湊	平尾・立石			13
平成2年	第21回	高橋・伊藤	中西・宝	藤田・湊	川北・見取	12
平成3年	第22回	出岡・梅原	梅田・河本	鈴村・平尾	伊藤・渡部	18
平成4年	第23回	出岡・梅原	梅田・河本	江藤・稲垣	秋山・小野寺	28
平成5年	第24回	藤田・平見	村田・貞光	鈴村・後藤	中西・宝	21
平成6年	第25回	山田・萩	中西・宝	貞光・落合	梶野・井上	15
平成7年	第26回	藤田・平見	田島・田代	坂倉・高橋	石垣・前田	30
平成8年	第27回	藤田・平見	田島・田代	杉平・服部	中西・宝	27
平成9年	第28回	田島・中尾	藤田・平見	加藤・浅生	田代・杉山	27
平成10年	第29回	田島・中尾	藤田・田代	島村・家城	落合・貞光	14
平成11年	第30回	藤田・平見	貞光・中西	二宮・朝熊	田代・岩崎	23
平成12年	第31回	藤田・平見	島村・家城	後藤・森	田代・加藤	28
平成13年	第32回	福島・矢田	中川・服部	村田・竹中	森　・杉本	24
平成14年	第33回	田代・出口	八太・野田	二宮・朝熊	伊藤・杉野	24
平成15年	第34回	新谷・太田	田代・加藤	矢野・松岡	藤田・平見	28
平成16年	第35回	藤田・森	田代・石川	小坂・二宮	黒宮・早川	17
平成17年	第36回	早川・藤井	田代・平見	市川・藤原	南山・二宮	33

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成18年	第37回	浅野・近藤	藪内・高橋	竹中・阿部	高田・川村	28
平成19年	第38回	藤田・浅生	石川・吉村	米谷・後藤田		
平成20年	第39回	田代・倉田	竹中・石川	後藤・中筋		25

OV55男子

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	
平成13年	第32回	鬘谷・川北	葛谷・藤沢			4
平成16年	第35回	藤沢・小林	野崎・大西			4
平成19年	第38回	渡辺・藪下	山村・真鈴川			
平成20年	第39回	松宮・田邊	山崎・安川			5
平成14、15、17、18年度は成立せず						

OV45女子

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	
平成19年	第38回	黒宮・早川	竹中・藪内			

● 鈴鹿選手権大会　ジュニアの部

ジュニア男子シングルス

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和51年	第1回	一木　好永	小宮　久幸			23
昭和52年	第2回	村田　昭	別所　勇治			35
昭和53年	第3回	須山　秀基	高橋　一仁			36
昭和54年	第4回	杉谷　隆之	北山　綱次	松田　裕一	美濃部克哉	60
昭和55年	第5回	関谷　憲生	山田　淳一	近藤　正一	水原　徹	66
昭和56年	第6回	塚田　賢一	中山　隆	柿沼　武	黒川　明彦	68
昭和57年	第7回	坂本　正人	小林　勉	柿沼　武	村主　隆行	45
昭和58年	第8回	渥美　博幸	前川　佳昭	柿沼　武	高田　勝	39
昭和59年	第9回	清水　隆	原　将輝	達知　利雄	渡辺　裕治	44
昭和60年	第10回	渡辺　裕治	伊藤　彰	長谷川勝昭	石田　英慎	42
昭和61年	第11回	田中　英貴	伊藤　彰	南山　正樹	荻田　潔	35

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加人数
昭和62年	第12回	馬島　貞義	藤田　泉	山本　康司	伊藤　秀哉	47
昭和63年	第13回	横田　信彦	森川　勝文	舘　貞人	長谷川友岐	48
平成１年	第14回	森川　勝文	森下　功	加藤　深志	服部　浩樹	57
平成２年	第15回	国本　明裕	森下　功	清水　邦光	加藤　仁	61
平成３年	第16回	宮崎　貴範	西岡　真一	伊藤　充輝	岡田　公二	67
平成４年	第17回	多賀　久晴	伊豆　昇	小川　真輝	伊藤　貴俊	60
平成５年	第18回	村上　武久	山中　義輝	山中　乾史	中尾　光宏	50
平成６年	第19回	岡田　朗	太田　悟	丹羽　雄介	堀川　征人	61
平成７年　開催時期変更のため実施なし、以降３月に実施						
平成８年	第20回	森　忠久	長谷　光隆	坂倉　孝俊	川村　信久	48
平成９年	第21回	駒田　吉宏	服部　謙一	前田　暁利	岡野　佳典	41
平成10年	第22回	永井　智之	鈴木　崇宣	岡野　佳典	河合　陽太	39
平成11年	第23回	河合　陽太	岸本　圭太	辻内　達也	平井　英太	25
平成12年	第24回	永井　博	小林　勇太	西川　素史	中浜康二朗	64
平成13年	第25回	平塚　裕一	水野　雄介	中野　裕	平井　勝樹	
平成14年	第26回	竹中　理	水谷　高大	増田　章伸	落合　一臣	
平成15年	第27回	豊田　啓吾	北川　哲也	森田　浩史	服部　一歩	79
平成16年	第28回	古川　貴浩	田中　聡	石井　文夫	草川　祐一	82
平成17年	第29回	吉川　翔太	佐々木一真	長岡　俊樹	紙本　雄介	116
平成18年	第30回	田中　晴彦	世古口大輝	長岡　俊樹	鈴木　大貴	104
平成19年	第31回	吉川　翔太	鈴木　大貴	堀内　基希	服部　雄大	78
平成20年	第32回	平野　央	長田　裕介	上瀧　雅巳	吉村　拓也	72

ジュニア女子シングルス

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和51年	第1回	尾崎　哲子	磯野佳津美			14
昭和52年	第2回	梅田　明子	浦上　明美			20
昭和53年	第3回	川崎　明美	梅田　明美			29
昭和54年	第4回	梅田　明子	吉崎由美子	水谷　弘子	戸田　裕子	33
昭和55年	第5回	大友　和美	篠木美和子	梅田　明子	宇井　千里	52
昭和56年	第6回	梅田　明子	大友　和美	村木真由美	長田　緑	67
昭和57年	第7回	今田　貴子	長田　緑	前野　尚美	水谷あゆみ	53
昭和58年	第8回	今田　貴子	長田　緑	佐藤　洋子	大和妹津子	24
昭和59年	第9回	長田　緑	大和妹津子	河野　展子	西田　洋子	48
昭和60年	第10回	豊田　信子	木下　豊子	長田　明子	山崎ミユキ	43
昭和61年	第11回	安中みちる	豊田　信子	佐藤　友美	伊藤　妙子	37
昭和62年	第12回	安中みちる	松谷　直美	佐藤　友美	別所由美子	40
昭和63年	第13回	別所由美子	在間　新子	小倉　香織	加藤　珠紀	48
平成1年	第14回	加藤　珠紀	日高　三恵	中村　裕美	丹羽　恵美	44
平成2年	第15回	折戸　雅子	舘　ゆぐみ	石崎真由美	加藤　史恵	36
平成3年	第16回	前川　幸子	藤井　和子	紙谷　友美	小泉　二三	56
平成4年	第17回	寺田　小巻	紙谷　友美	伊藤　恵美	藤井　万澄	38
平成5年	第18回	川原　奈美	坂崎美由紀	坂崎　友紀	上野真樹子	30
平成6年	第19回	川原　奈美	麻生　真由	石崎　愛	大畑　幸子	38
平成7年	開催時期変更のため実施なし、以降3月に実施					
平成8年	第20回	堤　さとみ	西田　友紀	金武　智子	伊藤　加代	48
平成9年	第21回	伊藤　加代	三村　歩	大西　智恵	舘　明子	23
平成10年	第22回	堤　裕子	宮田　眞弓	萩　真理子	西村真理子	14
平成11年	第23回	堤　祐子	岡崎　純子	上原　彩	岩下ひとみ	15
平成12年	第24回	中子　智尋	中村　郁子	山中万里子	小林　位江	18
平成13年	第25回	小林　位江	田代　尚子	水野　枝里	伊藤　裕子	
平成14年	第26回	一色　香澄	林　麻衣子	佐藤　麻衣	藤田　理恵	
平成15年	第27回	中沢　亜希	秦　祐子	一色　香澄	佐藤　麻衣	40

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成16年	第28回	伊東 歩美	坂本 香織	太田 美紀	福島 香織	16
平成17年	第29回	西井 綾	中村 晃子	太田 美紀	大谷 美貴	35
平成18年	第30回	石垣 綾香	森下恵梨菜	江見優生乃	早川早帆子	34
平成19年	第31回	岡田 優里	瀧澤 彩美	太田 奈緒	米谷 香里	45
平成20年	第32回	西本麻衣子	田嶋 愛花	粂 千愛	尾藤 早希	40

ジュニア男子ダブルス

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加組
昭和51年	第1回	ダブルスは第2回から				
昭和52年	第2回	坂上・別所	福田・村田			22
昭和53年	第3回	須山・水谷	高橋・坂本			22
昭和54年	第4回	北山・峯山	志治・美濃部	羽田・伊藤	服部・村田	31
昭和55年	第5回	水谷・下	村田・坂上	山本・山田		31
昭和56年	第6回	塚田・堀田	黒川・舘	吉田・坂本		16
昭和57年	第7回	村主・佐々木	黒川・坂本	小林・柿沢	井上・林	27
昭和58年	第8回	高橋・佐々木	高田・藤田	高橋・中条	渥美・山越	29
昭和59年	第9回	古市・渡辺	清水・原	堂原・武知	達知・出岡	20
昭和60年	第10回	石田・後藤	田中・伊藤	玉田・早川	小林・池畑	20
昭和61年	第11回	田中・伊藤	宇井・横川	萩野・萩田	北村・杉本	10
昭和62年	第12回	馬島・伊東	藤田・浜口	矢田・末永	山本・原田	17
昭和63年	第13回	横田・長谷川	豊田・東	岡村・五味	太田・清水	22
平成1年	第14回	加藤・北村	岡村・五味	東山・清水	太田・森下	24
平成2年	第15回	清水・東山	国本・加藤	戸松・海野	菅野・伊藤	27
平成3年	第16回	西岡・岡田	奥野・宮崎	多賀・真下	伊藤・世古口	19
平成4年	第17回	多賀・伊藤	村上・山中	佐藤・真下	山中・構江	29
平成5年	第18回	山中・堀内	村上・山中	人見・曽根	中尾・水野	26
平成6年	第19回	岡田・堀川	太田・上谷川	清水・岡田	永田・川村	—
平成7年	開催時期変更のため実施なし、以降3月に実施					
平成8年	第20回	森 ・川村	永田・古賀	坂倉・清水	丹羽・駒田	20
平成9年	第21回	永井・大河原	駒田・前田	後藤・服部	鈴木・岡野	20

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
平成10年	第 22回	鈴木・岡野	永井・堀川	平井・北住	河合・瀧川	18
平成11年	第23回	奥村・小崎	辻内・岡田	松田・瀧川	永井・小林	12
平成12年	第24回	小林・鈴木	西川・山口	岡田・林	加藤・佐本	29
平成13年	第25回	平塚・平井	日置・水野	樋尾・西村	福田・島村	
平成14年	第26回	水谷・竹中	水野・落合	平松・黒宮	立木・増田	
平成15年	第27回	林　・福田	豊田・森田	田中・堀	浜畑・服部	35
平成16年	第28回	田中・一色	古川・原田	野呂・浅野	杉本・宮崎	37
平成17年	第29回	加藤・加藤	佐々木・紙本	豊田・松本	今西・伊藤	46
平成18年	第30回	田中・小竹	吉村・瀧澤	平野・長田	伊東・川喜田	43
平成19年	第31回	金森・平野	吉川・加藤	堀内・加藤	鈴木・伊藤	41
平成20年	第32回	多田・中村	吉村・服部	坂田・平野	長田・西依	32

ジ　ュ　ニ　ア　女　子　ダ　ブ　ル　ス

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
昭和51年	第 1 回	ダブルスは第２回から				
昭和52年	第 2 回	仲見・浦上	梅田・田中			18
昭和53年	第 3 回	川崎・梅田	酒井・陸			19
昭和54年	第 4 回	梅田・篠木	尾崎・河村	門野・堀川	市川・水谷	25
昭和55年	第 5 回	梅田・篠木	倉田・足立	高木・吉田		29
昭和56年	第 6 回	村木・倉田	吉岡・中西	寺島・上田		5
昭和57年	第 7 回	大和・長田	木下・安江	大浦・渡辺	前野・竹内	27
昭和58年	第 8 回	大和・長田	西田・今田	山崎・今村	佐野・西掘	25
昭和59年	第 9 回	河野・小川	出口・桜井	篠木・鈴木	杉野・倉田	19
昭和60年	第 10 回	豊田・広瀬	木下・山崎	栗本・草深	長田・高山	18
昭和61年	第 11 回	安中・豊田	佐藤・森	本村・仮屋	沢井・大場	17
昭和62年	第 12 回	安中・佐藤	河本・松谷	太田・倉田	別所・仮屋	17
昭和63年	第 13 回	別所・在間	小倉・阪倉	山川・世古	日高・長谷部	22
平成 1 年	第 14 回	日高・長谷部	加藤・中村	石崎・館	阪倉・折戸	22
平成 2 年	第 15 回	村山・鈴木	石崎・館	前川・坂本	徳永・川比	18
平成 3 年	第 16 回	藤井・伊森	紙谷・奥田	西村・水谷	佐藤・前川	24
平成 4 年	第 17 回	寺田・藤井	紙谷・蝦名	阿野・中川	伊藤・川原	14

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
平成５年	第18回	上野・坂崎美	川原・加藤	伊藤・坂崎友	大畑・麻生	20
平成６年	第19回	川原・麻生	大畑・加藤	石垣・西田	小辻・堤	19
平成７年	開催時期変更のため実施なし、以降３月に実施					
平成８年	第20回	西田・堤	青木・伊藤	西村・草深	岡田・加太	24
平成９年	第21回	伊藤・舘	三村・渡辺	岡田・坂田	大西・伊藤	14
平成10年	第22回	宮田・堤	西村・萩	岡崎・岩下	矢田・上原	7
平成11年	第23回	堤・岡崎	岩下・矢田	上原・田中	古川・前川	7
平成12年	第24回	中子・小林	前山・山中	奥田・伊藤	東口・水野	8
平成13年	第25回	伊藤・中村	水野・小林	平田・駒田		
平成14年	第26回	中村・駒田	伊藤・平田	藤田・矢田	森・林	
平成15年	第27回	樋口・米住	泉・林	青木・西田	一色・尾市	25
平成16年	第28回	太田・福村	吉岡・矢田			6
平成17年	第29回	服部・吉山	大谷・大谷	安宅・冨田	中村・西井	18
平成18年	第30回	石垣・森下	江見・千葉	岡田・藤井	安宅・冨田	15
平成19年	第31回	米谷・太田	南山・松田	谷川・伊藤		19
平成20年	第32回	旗手・西本	田嶋・清水	尾藤・粂	笠間・市川	16

● 市長杯争奪大会

男　子　ダ　ブ　ル　ス

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
昭和45年	第１回	吉村・伊藤猛	渡辺・伊藤			32
昭和46年	第２回	渡辺・前田	藤牧・中野			16
昭和47年	第３回	藤牧・平野	渡辺・坂			19
昭和48年	第４回	前田・六谷	薮下・米川			26
昭和49年	第５回	前田・六谷	瀬良・堀			44
昭和50年	第６回	近藤・渡辺	前田・六谷			30
昭和51年	第７回	近藤・渡辺	前田・林			39
昭和52年	第８回	薮下・米川	六谷・伊熊			36
昭和53年	第９回	近藤・渡辺	儀賀・北條			47
昭和54年	第10回	米田・伊藤	近藤・渡辺	砂原・矢川	鈴木・栗谷	57
昭和55年	第11回	白木・長谷	浜西・山中	田村・田村	嶋谷・渡辺	53

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
昭和56年	第12回	近藤・渡辺	鈴木・粟谷	岡田・井口	薮下・甲斐	70
昭和57年	第13回	米川・斉木	村田・長田	渡辺・浜西	葛山・森田	71
昭和58年	第14回	米川・井口	六谷・伊熊	山本・中山	鈴木・粟谷	73
昭和59年	第15回	伊藤・稲垣	佐藤・山中	井口・豊田	北川・佐藤	64
昭和60年	第16回	北川・長田	浜西・伊藤	豊田・山下	井口・斉木	61
昭和61年	第17回	北川・長田	藤沢・矢田	渡辺・斉木	伊熊・新居	49
昭和62年	第18回	井口・大石	北川・長田	山中・伊熊	薮下・渡辺	48
昭和63年	第19回	井口・斉木	山崎・森川	薮下・渡辺	横田・林	43
平成１年	第20回	横田・北川	勝田・森川	大石・伊藤	薮下・渡辺	32
平成２年	第21回	谷口・遠藤	伊藤・斉木	松岡・吉川	北川・大石	36
平成３年	第22回	井上・北川	稲垣・谷口	斉木・井口	伊藤・林	44
平成４年	第23回	大石・井上	北川・井口	勝田・森川	小宮・鈴木	50
平成５年	第24回	高橋・高橋	井口・斉木	伊藤・橋岡	勝田・吉川	77
平成６年	第25回	横田・林	井口・斉木	高橋・高橋	渡辺・辻	44
平成７年	第26回	渡辺・堤	水谷・北川	大石・今村	勝田・吉川	55
平成８年	第27回	勝田・吉川	谷川・森川	伊藤・林	樋口・後藤	59
平成９年	第28回	渡辺・市川	森下・山中	横田・徳重	高橋・高橋	42
平成10年	第28回	高橋・市川	山中・堀内	森川・林	横田・徳重	34
平成11年	第30回	谷川・鈴木	森　・森橋	勝田・岡田	清水・豊田	30
平成12年	第31回	長田・佐藤	谷口・高橋	山川・日下部	水野・伊豆	19
平成13年	第32回	BILLY・谷口	駒田・武田	森川・林	樋口・後藤	32
平成14年	第33回	村上・酒徳	長田・佐藤	山中・森	高橋・有竹	21
平成15年	第34回	谷川・林	高橋・高橋	田中・谷口	鈴木・有竹	26
平成16年	第35回	伊藤・海野	吉川・岡田	岩谷・原田	谷口・田中	36
平成17年	第36回	加藤・藤田	川並・渡辺	鈴木・有竹	前田・河村	45
平成18年	第37回	加藤・柴山	高橋・高橋	土田・渡辺	田中・加藤	46
平成19年	第38回	川並・竹内	鈴木・藤田	高橋・高橋		28
平成20年	第39回	丸山・正木	山中・伊藤	前田・村上	岩本・田垣内	46

OV45男子

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成11年						
平成12年						
平成13年						
平成14年	第1回	斉木武・岩谷	斉木・中嶋			4
平成15年	第2回	山本・古市	岡田・田沼			6
平成16年	第3回	松宮・田辺	澤潟・北野	岡田・田沼	今村・杉浦	8
平成17年	第4回	古市・今井	岡田・山崎			7
平成18年	第5回	松宮・田辺	鈴木・平尾	森川・清水	今井・古市	10
平成19年	第6回	岸 ・辻	中島・中畑	澤潟・今村	今井・古市	8
平成20年	第7回	岸 ・辻	今井・古市	山田・清水	山根・馬路	7

女　子　ダ　ブ　ル　ス

年　度	回	優　勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和45年	第 1 回					—
昭和46年	第 2 回	町谷喜代子				単 4
昭和47年	第 3 回					—
昭和48年	第 4 回	小浜・峰村				3
昭和49年	第 5 回	杉野・川井				9
昭和50年	第 6 回	服部・山田				5
昭和51年	第 7 回	杉野・石渡	鈴木・瀬古			11
昭和52年	第 8 回	杉野・石渡	桜井・吉村			15
昭和53年	第 9 回	川崎・梅田	岡野・古田			11
昭和54年	第 10 回	樋口・陸	三角・三輪	川村・水原	古田・岡野	24
昭和55年	第 11 回	三角・古田	河本・佐々木	窪田・橋本	石谷・佐藤	16
昭和56年	第 12 回	三輪・古田	平林・日置	三角・中田	川名・川村	18
昭和57年	第 13 回	樋口・宮本	梅田・梅原	金田・大日方	日置・寺本	24
昭和58年	第 14 回	三輪・渡辺	浦和・河本	奥川・鈴森	伊藤・増井	13
昭和59年	第 15 回	梅田・梅原	三輪・河本	大友・佐々木	奥川・比嘉	19
昭和60年	第 16 回	大友・梅田	大角・小竹	龍山・増井	厳根・佐々木	21
昭和61年	第 17 回	中西・佐々木	大友・吉川	岡田・中田	山納・阪	27

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
昭和62年	第18回	大友・吉川	中西・佐々木	平尾・後藤	岡田・中田	13
昭和63年	第19回	杉本・豊田	東口・湊	中西・佐々木	梅原・玉邑	22
平成１年	第20回	中西・宝	後藤・平尾			15
平成２年	第21回	後藤・藤田	服部・谷口	岡田・桑野	佐藤・藤田孝	22
平成３年	第22回	河本・梅田	梅原・水谷	伊藤・藤田	稲垣・佐藤	21
平成４年	第23回	梅原・水谷	河本・梅田	後藤・佐藤	藤田・浅生	24
平成５年	第24回	藤田・浅生	島村・宮崎	森田・米山	山田・萩	26
平成６年	第25回	藤田・平見	山田・萩	後藤・田代	島村・家城	28
平成７年	第26回	田島・田代	後藤・木室	山田・萩	倉岡・村田	30
平成８年	第27回	藤田・平見	伊藤・小野寺	宮崎・田代	矢田・伊藤	26
平成９年	第28回	田島・中尾	後藤・貞光	田代・信藤	梶野・井上	25
平成10年	第29回	藤田・平見	田代・島村	多田・岩崎	伊藤・小野寺	21
平成11年	第30回	藤田・平見	梅原・福島	後藤・木室	田島・鈴木	22
平成12年	第31回	藤田・平見	家城・島村	後藤・森	二宮・朝熊	22
平成13年	第32回	藤田・平見	田代・家城	貞光・矢田	東口・後藤	18
平成14年	第33回	藤田・平見	黒宮・早川	稲垣・小島	二宮・小坂	19
平成15年	第34回	島村・土井	岩崎・二宮	宮崎・竹代	高橋・駒田	21
平成16年	第35回	島村・浅井	永井・浅野	鎌田・阿部	吉村・東口	20
平成17年	第36回	島村・浅井	岩崎・二宮	東口・倉田	石川・吉村	36
平成18年	第37回	藤田・吉村	藪内・阿部	矢野・後藤田	竹代・寺村	32
平成19年	第38回	藤田・平見	笹井・山下	浅生・伊藤		32
平成20年	第39回	藤田・浅生	藪内・高橋	田代・倉田	中筋・後藤	28

OV55男子

年　度	回	優　勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成19年	第1回	渡辺・藪下				3
平成20年	第2回	渡辺・藪下				3

OV45女子

年　度	回	優　勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成19年	第1回	浅生・田代				3
平成20年	第2回	山上・梅林	中尾・田中			4

●鈴鹿オープンシングルス選手権大会

男子シングルス

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和51年	第1回	吉村　猛	渡辺　武志			22
昭和52年	第2回	吉村　猛	林　茂			21
昭和53年	第3回	砂原　衛	浜辺　昭雄			23
昭和54年	第4回	伊藤　三雄	藪下　久生			21
昭和55年	第5回	浜西　利彦	渡辺　武志			20
昭和56年	第6回	伊藤　三雄	渡辺　武志	甲斐　雄二		23
昭和57年	第7回	米川　一也	平林　克也			19
昭和58年	第8回	米田　幸夫	浜西　利彦			26
昭和59年	第9回	浜西　利彦	井口　健	平林　克也		13
昭和60年	第10回	山崎　謙治	長田　孝雄			26
昭和61年	第11回	山崎　謙治	鬼頭　幸男	若山真一郎	柳川　洋史	116
昭和62年	第12回	鬼頭　幸男	伊藤　三雄	大平　和輝	勝田　成仁	97
昭和63年	第13回	勝田　成仁	鬼頭　幸男	山崎　謙治	柳川　洋史	109
平成1年	第14回	横田　直樹	水谷　豪	角　由信	樋口　雅也	127
平成2年	第15回	鬼頭　幸男	大平　和輝	北川　俊秀	勝田　成仁	127
平成3年	第16回	鬼頭　幸男	勝田　成仁	横田　直樹	井上　晃一	165
平成4年	第17回	横田　直樹	山崎　謙治	大石　敏男	畑中　政実	135
平成5年	第18回	大石　敏男	高橋　尚樹	柴田　勇	中野　裕史	135
平成6年	第19回	瀬古　征弘	森下　功	浜辺　正雄	福山　克幸	116
平成7年	第20回	高橋　尚樹	古山　直征	水谷　正典	梶山　義成	158
平成8年	第21回	横田　直樹	浜辺　正雄	角　由信	山寄　真吾	130
平成9年	第22回	大石　敏男	吉川　佳男	勝田　成仁	瀬古　征弘	111
平成10年	第23回	大石　敏男	山本　竜彦	長谷川　良	鏡　亮太	86
平成11年	第24回	大石　敏男	村上　武久	伊藤　譲治	岡田　朗	88
平成12年	第25回	ロバート	大石　敏男	岸田　尚二	稲葉　雄志	116
平成13年	第26回	岸田　尚二	西　仁晴	角　由信	川岡　均	89
平成14年	第27回	福田　龍雄	伊藤　三雄	海野　正幸	仲　越哉	79
平成15年	第28回	豊田　和己	伊藤　譲治	内山　道之	駒田　吉宏	122

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成16年	第29回	大石 敏男	今村 幸男	駒田 吉宏	永里 祐次	116
平成17年	第30回	大石 敏男	駒田 吉宏	吉川 龍司	水野 大伸	97
平成18年	第31回	大石 敏男	内山 道之	谷口 智哉	出口 真	117
平成19年	第32回	西岡 靖雄	久志本章史	西村 知之	児玉 佳樹	92
平成20年	第33回	大石 敏男	西岡 靖雄	西村 知之	内山 道之	104

女子シングルス

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和51年	第1回	杉野 早苗				8
昭和52年	第2回	杉野 早苗	陸 浩子			10
昭和53年	第3回	川崎 明美	梅田 明子			10
昭和54年	第4回	樋口 京子	三輪由紀子			10
昭和55年	第5回	樋口 京子	三輪由紀子			12
昭和56年	第6回	樋口 京子	平林 眞弓	梅田 明子		14
昭和57年	第7回	梅田 明子	梅原 頼子			15
昭和58年	第8回	金田充早恵	梅田 明子			16
昭和59年	第9回	梅田 明子	村木真由美	大友 和美		12
昭和60年	第10回	大友 和美	佐々木泰子	中西寿恵子		13
昭和61年	第11回	大友 和美	山下 淑子	桜井 文乃	大井 元子	29
昭和62年	第12回	大友 和美	松谷 直美	柴田恵美子	吉沢 久子	18
昭和63年	第13回	加藤 ゆり	大友 和美	後藤由美子	立石 素子	7
平成1年	第14回	藤田 純子	立石 素子	高橋のぞみ	田村 久子	19
平成2年	第15回	藤田 純子	後藤由美子	伊藤 里美	大井 元子	35
平成3年	第16回	藤田 純子	島村 純子	後藤由美子	井上 洋子	46
平成4年	第17回	島村 純子	稲垣小百合	藤田 純子	小野寺かよ子	47
平成5年	第18回	島村 純子	藤田 純子	後藤智代美	荒木真理子	33
平成6年	第19回	寺本 みか	平見世津子	白川 真理	藤田 純子	37
平成7年	第20回	川崎 恭子	田島 雅美	寺本 みか	本室 栄子	41
平成8年	第21回	秋豆えりな	家城美智子	後藤智代美	梶原加生里	35
平成9年	第22回	川床 萌	家城美智子	後藤智代美	岩越 綾子	40
平成10年	第23回	伊藤亜理沙	岩越 綾子	後藤智代美	梶原加生里	28

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成11年	第24回	中川梓由美	中山倫紀子	寺本 みか	田島 雅美	43
平成12年	第25回	田島 雅美	寺本 みか	梶原加生里	服部なな子	53
平成13年	第26回	大澤恵利子	勝本 順子	田辺 孝子	竹中真寿美	29
平成14年	第27回	中沢 亜希	豊田 尚子	鈴木真優子	伊東 歩美	33
平成15年	第28回	中沢 亜希	豊田 尚子	竹中真寿美	後藤田みな	34
平成16年	第29回	寺村真貴子	伊東 歩美	鈴木真優子	黒宮 梨恵	34
平成17年	第30回	大谷 美貴	広本 容子	竹代マスミ	大澤恵利子	20
平成18年	第31回	江見優生乃	岡田 優里	藤井 美咲	千葉 南奈	28
平成19年	第32回	久保田詩織	山中 淳子	中嶋喜美子		13
平成20年	第33回	中嶋喜美子	久保田詩織	鈴木 千夏		14

● 家庭婦人大会

シ ン グ ル ス

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
シングルスは第2回より						
昭和55年	第2回	三輪由紀子	中田 郁代	古田 桂子		14
昭和56年	第3回	三輪由紀子	日高由紀子	河本美代子	古田 桂子	20
昭和57年	第4回	三輪由紀子	日高由紀子	河本美代子	中田 郁代	22
昭和58年	第5回	桑野 文子	中田 郁代	浦和スエ子	川村和歌子	24
昭和59年	第6回	佐々木泰子	中西寿恵子	鈴木 節子	浜辺嘉寿代	28
昭和60年	第7回	中西寿恵子	服部 孝子	川村和歌子	田辺かづ子	28
昭和61年	第8回	吉沢 久子	阪 雅子	浜辺嘉寿代	宝 紀久子	32
昭和62年	第9回	鈴村 敦子	宝 紀久子	藤田 純子	西山理枝子	28
昭和63年	第10回	後藤由美子	中田 郁代	立石 素子	浜辺嘉寿代	33
平成1年	第11回	藤田 純子	湊 敬子	鈴木いしゑ	立石 素子	39
平成2年	第12回	宝 紀久子	後藤由美子	鈴木いしゑ	西山 尚子	32
平成3年	第13回	藤田 純子	平見世津子	浜辺嘉寿代	伊藤 里美	32
平成4年	第14回	島村 純子	竹中 香代	平見世津子	宝 紀久子	35
平成5年	第15回	藤田 純子	小野寺かよ子	後藤智代美	加藤 典子	41
平成6年	第16回	宮崎美智子	後藤智代美	川島 晴子	矢田真知子	25
平成7年	第17回	後藤智代美	阪 雅子	山田千佳子	大谷 延子	18

年　度	回	優　勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
平成8年	第18回	二宮　里美	大谷　延子	阪　雅子	岩崎ゆみ子	
ダブルスに変更						
平成9年	第1回	谷口・萩原	伊藤・小野寺	岩崎・小久保	村田・貞光	32
平成10年	第2回	平見・杉山	島村・浅生	宮崎・貞光	加藤・小野寺	32

ダ　ブ　ル　ス

年　度	回	優　勝	準優勝	第3位	第3位	参加組
昭和54年	第1回	三輪・三角	岡野・古田	川村・水原	中田・森田	17
昭和55年	第2回	三輪・岡野	日高・七崎	河本・佐々木	水原・中田	19
昭和56年	第3回	三輪・古田	日高・河本	中田・三角	岡野・水原	18
昭和57年	第4回	三輪・日高	古田・河本	桑野・田中	浦和・岩崎	21
昭和58年	第5回	中田・佐々木	桑野・田中	川村・水原	若林・岩崎	18
昭和59年	第6回	河本・浦和	岡田・清水	川村・水原	田辺・浜辺	20
昭和60年	第7回	桑野・田中	西山・岡田	中西・平尾		16
昭和61年	第8回	川村・服部	西山・中田	田辺・吉沢	浜辺・清水	32
昭和62年	第9回	後藤・松田	岡田・中田	鈴村・立石	西山・神田	28
昭和63年	第10回	平尾・立石	東口・湊	浜口・中世古	加藤・山納	30
平成1年	第11回	東口・湊	平尾・中西	松原・宮河	荒井・林	35
平成2年	第12回	伊藤・高橋	平野・浅生	鈴村・平尾	川島・中世古	38
平成3年	第13回	後藤・田代	川北・見取	竹中・鈴村	谷口・湊	29
平成4年	第14回	藤田・林	渡辺・竹中	山城・浅生	小山・落合	40
平成5年	第15回	秋山・大鷲	藤田・家城	村田・貞光	中西・宝	37
平成6年	第16回	藤田・平見	伊藤・小野寺	坂倉・米山	江角・山田	31
平成7年	第17回	草川・加藤	田島・田代	中西・宝	江角・前田	39
平成8年	第18回	田島・田代	落合・宮崎	村田・倉岡	北川・浜口	41
平成9年	第19回	中西・宝	菅野・岩崎	後藤・木室	加藤・小野寺	43
平成10年	第20回	杉山・藤田	多田・岩崎	二宮・岩井	田島・貞光	29

● 鈴鹿レディース

春季

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成11年	第3回	島村・大澤	貞光・後藤	森本・田中	後藤・岩崎	31
平成12年	第4回	森・後藤	宝・森(輝)	益川・渡辺		31
平成13年	第5回	中尾・土井	東口・渡辺	大澤・岩崎		30
平成14年	第6回	村田・森	南山・藪内	二宮・浜野	山下・大澤	40
平成15年	第7回	貞光・矢田	永井・二宮	黒宮・早川	竹代・浅井	40
平成16年	第8回	永井・二宮	高橋・岩崎	貞光・竹中	山村・田辺	32
平成17年	第9回	黒宮・早川	二宮・南山	吉村・東口	竹中・浅井	32
平成18年	第10回	石川・吉村	黒宮・早川	橋本・伊藤	高橋・後藤	32
平成19年	第11回	戸川・上田	倉田・浅井	後藤・高橋	山村・大井	
平成20年	第12回	田代・倉田	中筋・後藤	土井・浅井	杉野・前田	24

秋季

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成11年	第21回	大澤・貞光	竹中・村田	米山・石田	後藤・杉平	28

シングルス

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成16年	第1回	吉村知嘉子	浅野 優子	杉野 裕子	大澤恵利子	14
平成17年	第2回	浅野 優子	阿部 洋子	浅井 和佳	鈴木 恒美	16
平成18年	第3回	阿部 洋子	鈴木 恒美	祖父江美也	大澤恵利子	10
平成19年	第4回	笠井 和子	高橋のぞみ	宮河 茂子	長尾 桂瑛	13

Aクラス

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成20年	第1回	田代・倉田	高橋・宮河	阿部・大井	浅野・祖父江	12

Bクラス

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成20年	第1回	笠井・小川	高橋・山下	梅林・樋口	山上・鈴木	24

● 中勢選手権大会

一 般 男 子 シ ン グ ル ス

年 度	回	優 勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和50年	第1回	白木 徹夫	伊藤 三雄			53
昭和51年	第2回	吉村 猛	鈴木 広			39
昭和52年	第3回	浜辺 昭雄	六谷 幸三			58
昭和53年	第4回	浜辺 昭雄	米川 一也			75
昭和54年	第5回	阪 政則	倉田 雄三	砂原 衛	米川 一也	114
昭和55年	第6回	浜辺 昭雄	小林 衛	中井 正人	長谷 政美	93
昭和56年	第7回	伊藤 三雄	米田 幸夫	志治 良幸	三宅 正之	156
昭和57年	第8回	中井 正人	米川 一也	三宅 康文	浜西 利彦	126
昭和58年	第9回	志治 良幸	中井 正人	三宅 正之	篠田 和秀	152
昭和59年	第10回	大川 智弘	中井 正人	米川 一也	山本 昇	133
昭和60年	第11回	井口 健	山崎 謙治	伊藤 三雄	米田 幸夫	182
昭和61年	第12回	井口 健	山崎 謙治	中井 正人	北川 俊秀	190
昭和62年	第13回	山崎 謙治	伊藤 三雄	中井 正人	井口 健	118
昭和63年	第14回	伊藤 三雄	山崎 謙治	井口 健	角 由信	102
平成1年	第15回	山崎 謙治	伊藤 三雄	角 由信	橋本 真一	90
平成2年	第16回	山崎 謙治	岸江 浩司	横田 直樹	勝田 成仁	96
平成3年	第17回	大石 敏男	勝田 成仁	北川 俊秀	橋本 真一	97
平成4年	第18回	大石 敏男	浜辺 正雄	井上 和男	柴田 勇	127
平成5年	第19回	勝田 成仁	浜辺 正雄	浜辺 昭雄	岸江 浩司	155
平成6年	第20回	山田 慎也	畑中 政実	角 由信	浜辺 正雄	80
平成7年	第21回	勝田 成仁	高橋 浩樹	伊藤 三雄	吉川 住男	105
平成8年	第22回	浜口 純一	浜辺 正雄	大平 和輝	後藤 由光	107
平成9年	第23回	畑中 政実	柴田 勇	北川 俊秀	伊藤 三雄	103
平成10年	第24回	大石 敏男	角 由信	山本 竜彦	村上 武久	110
平成11年	第25回	池ヶ谷 敦	角 由信	村上 武久	大石 敏男	128
平成12年	第26回	山本 康司	稲波 雄志	角 由信	中村健太郎	128
平成13年	第27回	武田 潤也	角 由信	柴田 勇	駒田 吉宏	128

年度	回	優勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成14年	第28回	鶴見 秀	豊田 和己	長田 孝雄	水野 大伸	92
平成15年	第29回	谷川 厚	駒田 吉宏	豊田 和己	藤井 義樹	88
平成16年	第30回	福田 龍雄	山中 義輝	戸谷 尚史	志田 隆信	117
平成17年	第31回	大石 敏男	矢野 洋	碇谷 弘晃	角 由信	115
平成18年	第32回	大石 敏男	榎本 規秀	駒田 吉宏	磯田 勇	113
平成19年	第33回	磯田 勇	加藤 仁	大石 敏男	多田 雄紀	128
平成20年	第34回	川口 智也	西川 徹哉	三好 拓郎	片岡 裕之	78

一般女子シングルス

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加人
昭和50年	第1回	田上 幸代	田中 朱美			15
昭和51年	第2回	田中 朱美	杉野 早苗			14
昭和52年	第3回	梅林真理子	竹内 政美			18
昭和53年	第4回	松浦 慶子				8
昭和54年	第5回	樋口 京子	海原 恵子	松浦 慶子	鎌形由美子	22
昭和55年	第6回	沢田 正子	山口かがり	後藤 寿水	坂 ゆかり	20
昭和56年	第7回	宮木 照美	伊藤 暁美	横井ひろみ	寺田 久子	30
昭和57年	第8回	金田充早恵	梅田 明子	大日方和枝	中井美智子	35
昭和58年	第9回	梅田 明子	後藤 美鈴	寅井 千寿	稲垣 典子	21
昭和59年	第10回	梅田 明子	三輪由紀子	梅原 頼子	長野 武子	32
昭和60年	第11回	河本美代子	渡辺 節子	平野 文美	柴田恵美子	26
昭和61年	第12回	梅田 明子	河本美代子	阪 雅子	吉沢 久子	25
昭和62年	第13回	大友 和美	横山 孝子	中村久美子	渡部 裕子	19
昭和63年	第14回	豊田 信子	立石 素子	渡辺 裕子	坂口あずさ	25
平成1年	第15回	別所由美子	湊 敬子	立石 素子	浜辺嘉寿代	5
平成2年	第16回	藤田 純子	加藤 珠紀	菅野 房子	馬場 和美	25
平成3年	第17回	藤田 純子	平野 育子	湊 敬子	伊藤 里美	14
平成4年	第18回	藤田 純子	島村 純子	加藤 典子	平野 育子	27
平成5年	第19回	平見世津子	藤田 純子	田中加代子	後藤智代美	22

年　度	回	優　勝	準優勝	第 3 位	第 3 位	参加人数
平成 6 年	第 20 回	杉山　豊子	福島　恵子	村山　淳子	平見世津子	18
平成 7 年	第 21 回	中川梓由美	田代　千代	後藤智代美	阪　雅子	19
平成 8 年	第 22 回	後藤智代美	田代　千代	堤　さと美	木室　栄子	25
平成 9 年	第 23 回	畑中　里美	後藤智代美	矢田恵理子	林　美貴子	34
平成 10 年	第 24 回	家城美智子	後藤智代美	島村　純子	小木曽有紀	22
平成11年	第25回	家城美智子	服部なな子	山田奈々子	後藤智代美	64
平成12年	第26回	後藤智代美	家城美智子	福島真須美	黒田　寿予	32
平成13年	第27回	後藤智代美	大澤恵利子	石垣　愛	出口　景子	32
平成14年	第28回	出口　景子	豊田　尚子	棚橋十誌子	土井　圭子	33
平成15年	第29回	豊田　尚子	大澤恵利子	一色　香澄	吉田　京子	32
平成16年	第30回	寺村眞貴子	伊東　歩美	大谷　紗代	岡田　あい	45
平成17年	第31回	西井　綾	後藤田さつき	高橋のぞみ	中村　晃子	29
平成18年	第32回	鈴木　彩加	中川　愛海	太田　美紀	岡田　優里	37
平成19年	第33回	辻　みゆき	山北小夜花	柴山　葵	南山　倫子	36
平成20年	第34回	江見優生乃	山邊　千明	樋口視記子	堀内由実子	16

ジュニア男子シングルス

年　度	回	優　勝	準優勝	第 3 位	第 3 位	参加人数
昭和50年	第 1 回	早川　輝彦	小林　文孝			43
昭和51年	第 2 回	一木　好永	佐野　収一			48
昭和52年	第 3 回	豊田　哲也	西岡　範夫			75
昭和53年	第 4 回	阪　政則	倉田　裕三			64
昭和54年	第 5 回	志治　良幸	美濃部克哉	峯山　徹也	北山　綱次	61
昭和55年	第 6 回	水谷　秀樹	下　秀樹	伊藤	塚田　賢一	81
昭和56年	第 7 回	奥山　睦	塚田　賢一	中山　隆	古市　素行	117
昭和57年	第 8 回	山田　篤	石川　歩	山本　泰生	野呂　禎也	100
昭和58年	第 9 回	柿沼　武	渥美　博之	前川　佳昭	松永　信幸	64
昭和59年	第 10 回	小林　達矢	野内　憲一	高橋　尚樹	西村　友和	91
昭和60年	第 11 回	井手　信彦	森竹　晃之	石田　英慎	田中　英貴	99
昭和61年	第 12 回	井手　信彦	伊東　宏明	別所　英樹	平田　憲作	109
昭和62年	第 13 回	馬島　貞義	藤田　泉	山本　泰司	早川　一路	95

年　度	回	優　勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和63年	第14回	馬島　貞義	桂　義樹	金山　竹史	竹内　昭雄	95
平成1年	第15回	森川　勝文	矢作　達也	簗村　勝俊	鈴木　理雄	114
平成2年	第16回	森下　功	清水　邦光	加藤　尚利	深海　広司	151
平成3年	第17回	奥野　孝行	加藤　尚利	家田　毅士	西岡　真一	192
平成4年	第18回	藤田　智也	北尾　英人	岩間　大輔	信藤　優	200
平成5年	第19回	村上　武久	山中　義輝	長尾　佳樹	田中　章雄	182
平成6年	第20回	永田　篤史	士岐　直司	小川　雅也	川村　信久	168
平成7年	第21回	森　忠久	西村　孝宜	川村　信久	坂倉　孝俊	149
平成8年	第22回	駒田　吉宏	中谷　重成	大河原　大	中島　智広	166
平成9年	第23回	柳川　豊	岡野　佳典	羽多野裕之	永井　智之	168
平成10年	第24回	河合　陽太	田中　俊輝	松下　康平	島村　健人	147

ジュニア女子シングルス

年　度	回	優　勝	準優勝	第3位	第3位	参加人数
昭和50年	第1回	川井　嘉子	矢橋　智子			36
昭和51年	第2回	田中真佐子	阪　美喜江			46
昭和52年	第3回	松浦　慶子	森　千佐子			61
昭和53年	第4回	陸　浩子	家令　牧			41
昭和54年	第5回	横井ひろみ	村田　京子	金沢　眞弓	山口かがり	64
昭和55年	第6回	大友　和美	眞弓美江子	村山　直子	小林　千秋	82
昭和56年	第7回	梅田　明子	佐藤久美子	石谷佳誉子	長田　緑	77
昭和57年	第8回	今田　貴子	中村　浩子	稲垣　典子	山崎　綾子	134
昭和58年	第9回	今田　貴子	長田　緑	佐野　洋子	大和妹津子	105
昭和59年	第10回	揚利　裕子	平野　文美	大和妹津子	筒井真奈美	112
昭和60年	第11回	木下　豊子	辻井　千織	松橋　典子	田上　弘美	139
昭和61年	第12回	安中みちる	古田　睦子	山田千恵子	矢田　純子	101
昭和62年	第13回	松谷　直美	別所由美子	九鬼　愛子	河本麻由美	93
昭和63年	第14回	別所由美子	在間　新子	矢橋　礼子	伊藤　明美	112
平成1年	第15回	加藤　珠紀	前川　穂積	谷口枝美子	日高　三恵	114

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加人数
平成２年	第16回	浅井　裕子	吉川　清美	奥山　里花	田上稚枝己	147
平成３年	第17回	平田由紀絵	中村　恭子	白石　洋子	玉村　京子	168
平成４年	第18回	五家　初音	鏡　千恵	玉村　京子	臼井　貴子	199
平成５年	第19回	佐々木千夏	山田　秀子	伴　美穂	伊藤　英美	163
平成６年	第20回	来宮　雅代	松井久美子	川原　奈美	松島恵梨子	172
平成７年	第21回	松島恵梨子	杉本　香	石垣　愛	豊田　愛	187
平成８年	第22回	伊藤　加代	川口　恵美	小澤佳那子	兼浦　里英	150
平成９年	第23回	小木曽有記	今井　若葉	中西　理恵	鈴木　薫	148
平成10年	第24回	崎久保優子	萩　真理子	永田まい子	堤　祐子	132

中勢家庭婦人ダブルス

年　度	回	優　勝	準優勝	第３位	第３位	参加組
昭和53年	第４回	杉田・織田	湯浅・船橋	第４回より家庭婦人が追加		26
昭和54年	第５回	菊岡・財田	川村・水原	赤根・小林	後藤・安井	27
昭和55年	第６回	三輪・三角	川村・水原	岡野・古田	後藤・川崎	21
昭和56年	第７回	菊岡・梅本	樋口・湯浅	赤根・小林	田中・内園	32
昭和57年	第８回	田中・和田	西井・川畑	若山・津布久	家城・竹尾	30
昭和58年	第９回	川井・藤村	中田・佐々木	田島・辻ケ堂	鎌田・谷川原	33
昭和59年	第10回	田島・辻ケ堂	中田・佐々木	小段・等農	鎌田・谷川原	28
昭和60年	第11回	小段・等農	鎌田・谷川原	沼田・藤岡	上杉・平野	29
昭和61年	第12回	吉沢・西山	長崎・菅野	平尾・鈴村	平田・沼田	27
昭和62年	第13回	横山・渡辺	鎌田・谷川原	岡田・田中	松本・長谷川	14
昭和63年	第14回	中村・村中	菅野・井手	中田・中西	平野・梅田	28
平成１年	第15回	小段・平野	平尾・中西	角　・下野	加藤・今高	12
平成２年	第16回	草川・加藤	井手・河合	福島・山田	浜辺・鈴木	12
平成３年	第17回	大澤・河辺	青木・安本	沼田・島田	山田・戸川	25
平成４年	第18回	山城・浅生	伊藤・谷口	福島・山田	鈴木・戸川	29
平成５年	第19回	中西・宝	安本・青木	下里・家城	村田・倉岡	29
平成６年	第20回	杉山・沼田	石塚・奥田	内藤・鈴木	二宮・岩崎	20
平成７年	第21回	山田・本間	石塚・奥田	岩崎・木室	津田・長谷川	19

● 会長杯争奪クラブ対抗団体戦

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加チーム
昭和48年	第1回	三菱モンサント	東洋紡			10
昭和49年	第2回	富士電機A	鈴鹿高専A			14
昭和50年	第3回	三菱油化	鈴鹿高専A			12
昭和51年	第4回	富士電機A	古河電工			11
昭和52年	第5回	三菱モンサントA	富士電機A			14
昭和53年	第6回	三菱モンサントA	藤倉電線			16
昭和54年	第7回	三菱モンサントA	教員クラブ			17
昭和55年	第8回	三菱モンサントA	爽球会	富士電機A	鈴鹿エーセスB	A18
		三菱モンサントB	鈴鹿市役所			B 6
昭和56年	第9回	富士電機A	亀山クラブ	藤倉電線	教員クラブ	A 6
		日東紡	富士電機B	鈴鹿テニス同好会		B 6
昭和57年	第10回	三菱モンサントA	三菱モンサントB	藤倉電線A	富士電機A	A13
		三菱モンサント	GOGOクラブ	藤倉電線B	STC Bチーム	B11
昭和58年	第11回	三菱モンサントA	三菱モンサントB	爽球会	富士電機A	A15
		富士電機B	STC B	りんどうクラブ	GOGOクラブ	B16
昭和59年	第12回	富士電機A	爽球会			A11
		鈴鹿学園B	三菱モンサントE			B12
昭和60年	第13回	STC A	富士電機A			A10
		STC B	テニス同好会			B20
昭和61年	第14回	鈴鹿市役所	STC A	富士電機A	三菱モンサント	A 8
		三菱モンサントB	STC B	三菱モンサントA	古河電工	B20
		STC A	STC B	スポーツセンター	鈴鹿ユニオンA	女10
昭和62年	第15回	鈴鹿市役所	STC	三菱モンサント	本田技研	A 4
		STC－A	STC－B			B20
		STC	コスミック	スポーツセンター		女12
昭和63年	第16回	三菱モンサント	鈴鹿市役所	STC	石原産業	A 7
		大日本製薬	三菱モンサントB			B15
		コスミック	アドバンス	ニューハーモニー	チェリー	女 9

年度	回	優勝	準優勝	第3位	第3位	参加チーム
平成1年	第17回	石原産業	STC	MSC	三菱モンサントA	A 9
		STC	中部電力	GOGOクラブ	古河電工	B22
		コスミック	アドバンス	ベストTC		女 8
平成2年	第18回	市役所	三菱化成	石原産業	三菱油化	A 8
		本田技研	旭化成	鈴鹿市役所	SFTC	B16
		コスミック(1)	ルネッサンス	ハミング	コスミック (2)	女12
平成3年	第19回	鈴鹿市役所	ルネッサンスTC	ポリテック	本田技研	A 7
		鈴鹿倶楽部	中部電力	GOGOクラブ	ポリテック	B18
		コスミック	ルネッサンス			女11
平成4年	第20回	ISK	ポリテック	クインティ	本田技研	A 8
		オリンピック	藤倉電線	ベスト	ポリテック	B24
		コスミック	ロランギャロ	ベスト	ビエルネス	女15
平成5年	第21回	鈴鹿市役所	本田技研	ポリテック	EX－Lスズカ	A 5
		ITO. TC	フジクラ	鈴鹿市役所	ISK	B15
		チャティング	ルネッサンス	スズカレディース	プレイフェロー	女14
平成6年	第22回	ロランギャロ	ISK	鈴鹿市役所	ITO. TC	8
		旭化成(1)	SFTC	旭化成(2)	ISK(2)	24
		プレイフェロー	STC	ロランギャロ	鈴鹿レディース	5
平成7年	第23回	ロランギャロ	ISK	クインティ	本田技研	10
		鈴鹿市役所	NTT(B)	EX－Lスズカ	YGTC	18
		プレイフェロー	STC(月)	STC(星)	STC(花)	12
平成8年	第24回	クインティA	ISK	STC	鈴鹿高校	8
		フジクラ	東ソー	三菱化学	YGTC	11
		チャティング	STCひまわり	STCコスモス	鈴鹿レディース	13
平成9年	第25回	ITO.TC	三菱化学	石薬師高校	鈴鹿市役所	8
		東ソー	三菱化学	GOGOクラブ	DFT	12
		ロランギァロ	STC(2)	アゼリア	STC(1)	8
平成10年	第26回	IOB (1)	東ソー	IOB (2)		8
		トライアングル	DFT	四日市合成(1)		12
		STC(2)	STC(1)	ハミング		5

● 会長杯

A級(男子)

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成11年	第27回	IOB	ITO・TC	鈴鹿庭球塾		10
平成12年	第28回	鈴鹿庭球塾	東ソー	ITO・TC		8
平成13年	第29回	鈴鹿庭球塾	鈴鹿市役所	ドリフターズ		5
平成14年	第30回	東ソー	鈴鹿市役所	鈴鹿高専		4
平成15年	第31回	鈴鹿庭球塾	本田鈴鹿	GOGOクラブ	鈴鹿市役所(A)	7
平成16年	第32回	みさとテニス	GOGOクラブ	鈴鹿庭球塾		5
平成17年	第33回	みさとテニス	GOGOクラブ	本田鈴鹿		8
平成18年	第34回	東ソー	GOGOクラブ(A)	鈴鹿市役所		6
平成19年	第35回	GOGOクラブ	旭化成			3
平成20年	第36回	GOGOクラブ	鈴鹿庭球塾	MMC		19

男子(B級)

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成11年	第27回	ﾛﾗﾝｲﾝﾄﾞｱ	旭化成	三菱化学(A)		9
平成12年	第28回	SKR-TC(A)	本田技研	三菱化学		11
平成13年	第29回	GOGOクラブ	三菱化学	SKR-TC	TeamGET	8
平成14年	第30回	鈴鹿市役所	三菱化学	富士ゼロックス	DFT	6
平成15年	第31回	鈴鹿庭球塾	本田鈴鹿	SHSOB&OG	ﾁｰﾑｽｽﾞｶ	12
平成16年	第32回	CLAPS(A)	旭化成	DFT	ﾁｰﾑｽｽﾞｶ(A)	13
平成17年	第33回	SHSOB&OG(白)	鈴鹿高専	大日本製薬		18
平成18年	第34回	本田鈴鹿	MMC	越後屋	大日本住友製薬	18
平成19年	第35回	MMC(たま組)	旭化成	Liberty(A)	鈴鹿市役所(A)	18
平成20年	第36回					

女子

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成11年	第27回	ｽｽﾞｶﾃﾆｽｸﾗﾌﾞ	ﾌﾟﾚｲﾌｪﾛｰ	ﾛﾗﾝｲﾝﾄﾞｱ		9
平成12年	第28回	ビエルネス	ﾛﾗﾝｲﾝﾄﾞｱ	SLT(ハーモニー)		11
平成13年	第29回	ｻﾐｯﾄ(A)	ﾛﾗﾝｲﾝﾄﾞｱ	フレンズ	ｻﾐｯﾄ(B)	12
平成14年	第30回	ﾛﾗﾝｲﾝﾄﾞｱ	ｽｽﾞｶﾃﾆｽｸﾗﾌﾞ	Sun.step		10
平成15年	第31回	若松テニス(A)	コナミ鈴鹿	クイーンズ	サン・TC	12

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成16年	第32回	TTC(A)	コナミ鈴鹿	鈴鹿庭球塾	ﾛﾗﾝｲﾝﾄﾞｱ	12
平成17年	第33回	TTC	ライズ	ﾛﾗﾝｲﾝﾄﾞｱ	Wing ①	15
平成18年	第34回	ﾛﾗﾝｲﾝﾄﾞｱ	ｻﾐｯﾄ(B)	GOGOクラブ		16
平成19年	第35回	ｻﾐｯﾄ(A)	GOGOクラブ	ｻﾐｯﾄ(B)		12
平成20年	第36回	GOGOクラブ	楠スポーツ	Wing		9

● サマージュニアトーナメント

中学男子

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	落合 一臣	稲垣 翔悟	加藤 和紀	島田 康平	
平成13年	第2回	落合 一臣	松下 哲也	杉野 圭	小田 浩史	
平成14年	第3回	藤原 和樹	山崎 貴史	南 翔	菊池 裕貴	13
平成15年	第4回	加藤 悠馬	柴山 紘輔	平野 拓馬	山川 遥平	9
平成16年	第5回	田中 晴彦	長岡 俊樹	平野 拓馬	丸山 洋佑	23
平成17年	第6回	長岡 俊樹	長田 裕介	小倉 友輔	位田 祐希	17
平成18年	第7回	長岡 俊樹	平野 央	山本 太一	小倉 友輔	38
平成19年	第8回	萩 貴智	後藤翔太郎	北川 貴章	西川・徹哉	
平成20年	第9回	西川 徹哉	荒木 友也	川村 悠馬	神山 一真	48

中学女子

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	田代 尚子	尾崎加奈子	樋口 祥子	山村 梨恵	
平成13年	第2回	中沢 亜希	田代 尚子	藤井 愛子	伊藤 歩美	
平成14年	第3回	中沢 亜希	田代 尚子	山村 梨恵	益川亜佐美	7
平成15年	第4回	大西香穂里	中川 愛望	吉村 美穂		4
平成16年	第5回	大谷 美貴	太田 美紀	堀田 唯	田嶋 愛花	6
平成17年	第6回	南山 倫子	加藤 沙彩	北野亜紗実	稲葉 真穂	8
平成18年	第7回	野呂 知加	山崎 稚奈	松田 彩花	稲葉 真穂	16
平成19年	第8回	松田 彩花	太田 夕貴	朴 未紗	山崎 稚奈	
平成20年	第9回	朴 未紗	粂 千愛	伊藤 理香	杉之内 彩	20

小学男子

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	越山 智之	三宅 康太	市川雄一朗	清水 勇作	
平成13年	第2回	相川 将希	出口 真	越山 智之	越山 恵太	

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成14年	第3回	長岡 俊樹	加藤 悠馬	吉川 翔太	東口 航大	20
平成15年	第4回	長岡 俊樹	吉村 拓也	佐野 陽介	丸山 洋佑	31
平成16年	第5回	平野 史	小倉 友輔	長田 和典	森下 大斗	32
平成17年	第6回	長田 和典	森下 大斗	川村 悠馬	西川 徹哉	25
平成18年	第7回	西川 徹哉	長岡 央磨	桜木 良	神山 一真	20
平成19年	第8回	水瀬 成祐	桜木 良	原 直之	朴 慶樹	
平成20年	第9回	朴 慶樹	桝田 幹人	旗手 怜央	水谷 健人	20

小学女子

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	中沢 亜季	藤井 愛子	望月香代子	望月真希子	
平成13年	第2回	西井 綾	渡辺佑里子	北野亜紗美	樋口 泰子	
平成14年	第3回	西井 綾	松葉 海奈	中川 愛望	北野亜紗美	19
平成15年	第4回	森下恵梨菜	柴山 愛	島田 優	北野亜紗美	19
平成16年	第5回	森下恵梨菜	島田 優	岡田 優里	北野亜紗美	22
平成17年	第6回	原 采美香	大井 彩花	伊藤さより	松田 彩花	15
平成18年	第7回	江見優生乃	旗手ひかる	千葉 南奈	中村 美月	10
平成19年	第8回	小野 ルナ	中村 美月	中西 優希	浅野 瞳子	
平成20年	第9回	西本麻衣子	中村 美月	高田 空	川村優梨奈	18

● ウインタージュニアトーナメント

中学男子

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	竹中 理	青木 浩明	北川 剛志	志冶 光	24
平成13年	第2回	坂倉 和樹	黒田陽一朗	藤原 和樹		19
平成14年	第3回	藤原 和樹	小俣 宏樹	岡田 遥平	浜村 剛広	32
平成15年	第4回	藤原 和樹	小俣 宏樹	奥田 太郎	吉野 翔太	40
平成16年	第5回	長岡 俊樹	丸山 洋佑	平野 拓馬	位田 祐希	43
平成17年	第6回	長岡 俊樹	位田 祐希	奥田 晃平	小倉 友輔	32
平成18年	第7回	長岡 俊樹	小倉 友輔	三好 拓郎	山本 太一	32
平成19年	第8回	西川 徹哉	北川 貴章	神山 一真	宮崎 正史	48
平成20年	第9回	西川 徹哉	桜木 良	金成 大夢	川村 悠馬	48

中学女子

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	水野 藍	田代 尚子	尾崎加奈子	水戸路祥子	10
平成13年	第2回	中沢 亜季	藤井 愛子	田代 尚子		9
平成14年	第3回	田代 尚子	大西香穂里	塚田 有紀	東口 愛	23
平成15年	第4回	中川 愛望	西村 由紀	加藤 幸江	河合 望美	10
平成16年	第5回	太田 美紀	田嶋 愛花	中川 愛望	中井久美子	16
平成17年	第6回	北野亜紗実	南山 倫子	加藤 沙彩	稲葉 真穂	12
平成18年	第7回	森下恵梨菜	南山 倫子	岡田 真奈	清水 美帆	32
平成19年	第8回	中西 優季	朴 未紗	杉之内 彩	伊藤 理香	22
平成20年	第9回	杉之内 彩	粂 千愛	倉田 純花	稲毛 優紀	12

小学男子

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	清水 勇作	市川雄一朗	北野 剛士	高井 郁哉	19
平成13年	第2回	相川 将希	出口 真	南 翔		21
平成14年	第3回	長岡 俊樹	吉川 翔太	加藤 大暁	加藤 悠馬	36
平成15年	第4回	長岡 俊樹	瀧澤 隆雅	丸山 洋佑	長田 和典	52
平成16年	第5回	小倉 友輔	植中 郁登	谷 一真	坂田 歩夢	33
平成17年	第6回	三好 拓郎	西川 徹哉	金成 大夢	浅野 風馬	27
平成18年	第7回	森下 大斗	神山 一真	長岡 央磨	桜木 良	32
平成19年	第8回	桜木 良	水瀬 成祐	原 直之	朴 慶樹	22
平成20年	第9回	桝田 幹人	宇城 雄登	伊藤 光輝	水谷 健人	27

小学女子

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	中沢 亜希	西井 綾	藤井 愛子		5
平成13年	第2回	西井 綾	鈴木 花奈	松葉 海奈		16
平成14年	第3回	松葉 海菜	北野亜紗実	島田 優	柴山 愛	28
平成15年	第4回	大谷 美貴	森下恵梨菜	モニカアンジェロ	中川 愛海	32
平成16年	第5回	原 菜美香	中川 愛海	千葉 南奈	岡田 優里	25
平成17年	第6回	大井 彩花	千葉 南奈	坂田菜々美	松田 彩花	13
平成18年	第7回	旗手ひかる	坂田奈々美	杉之内 彩	吉田 麻椰	16
平成19年	第8回	小野 ルナ	中村 美月	倉田 純花	浅野 瞳子	16
平成20年	第9回	北村 桃子	高田 空	中村明日香	前田 真子	22

● 鈴鹿シニアテニス大会

1位ｸﾞﾙｰﾌﾟ

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	葛谷・畑地	岡田・森田			46
平成13年	第2回	木下・小久保	山村・宮崎			44
平成14年	第3回	田中・小久保	小西・梶野			45
平成15年	第4回	岡田・稲葉	田中・長谷川			59
平成16年	第5回	川畑・桑野	山村・稲垣	伊藤・小久保		89
平成17年	第6回	岡田・青木	仁科・相浦	落合・森		80
平成18年	春	内田・伊藤	川畑・高橋	真鈴川・小久保		96
平成18年	秋	山崎・畑地	南川・山崎	朝妻・藤川		78
平成19年	春	水谷・後藤	真鈴川・柴田	井上・岩部		96
平成19年	秋	安川・相浦	佐藤・小倉	大西・三輪		48
平成20年	春	川畑・竹中	内田・四野宮	水谷・小倉		80
平成20年	秋	岡田・相浦	片山・大井	清永・中村		93

2位ｸﾞﾙｰﾌﾟ

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	岩井・米山	山村・田中			
平成13年	第2回	中村・大貫	太田・西山			
平成14年	第3回	朝妻・岩部	中村・畑地			
平成15年	第4回	山村・樋口	田中・和藤			
平成16年	第5回	野崎・笹亀	渡辺・萩原	岡田・米山		
平成17年	第6回	伊藤・山下	宮崎・平田	大西・湯浅		
平成18年	春	岡田・相浦	佐藤・森	高橋・平野		
平成18年	秋	榎木・小久保	川畑・山口	星野・麦島		
平成19年	春	岡田・山口	藤本・河辺	大西・川口		
平成19年	秋	渡辺・伊藤	川島・米山	稲垣・小久保		
平成20年	春	斉藤・伊藤	渡辺・柴田	稲垣・藤本		
平成20年	秋	斉藤・堤	山中・畑地	川畑・脇田		

3位ｸﾞﾙｰﾌﾟ

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成12年	第1回	山田・高山	平野・木村			
平成13年	第2回	山原・高山	淺川・落合			
平成14年	第3回	岩井・宝	曽根・森田			
平成15年	第4回	中村・宝	太田・谷			
平成16年	第5回	渡辺・岡田	山本・藤本			
平成17年	第6回	小川・畑地	川畑・加藤	平野・宝		
平成18年	春	小西・川口	南川・伊藤	稲垣・鈴木		
平成18年	秋	岡田・川口	田中・荒木田	水谷・南川		
平成19年	春	高橋・石川	浜辺・中村	中村・松岡		
平成19年	秋	藤本・荒木田	菊池・伊藤	小川・関		
平成20年	春	藤谷・山下	大西・平田	浜辺・沼田		
平成20年	秋	佐藤・樋口	安川・柴田	中村・福山		

● 鈴鹿オープンミックス選手権

A級

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成13年	第1回	谷 ・佐藤	清水・稲垣	徳重・加藤	谷川・藤田	36
平成14年	第2回	鈴木・藤田	矢田・笠井	林 ・八太	岸江・加藤	8
平成15年	第3回	田岡・笠井	中西・三木	仮谷・安本	中村・高橋	11
平成16年	第4回	黒澤・藤堂	碇谷・大西	藤田・鈴木	山中・田代	20
平成17年	第5回	黒澤・藤堂	鈴木・藤田	山本・伊藤	山中・田島	11
平成18年	第6回	岡留・土井	鈴木・藤田			4
平成19年	第7回	黒澤・藤堂	塚田・小木曽	山本・浅生	山中・田代	8
平成20年	第8回	早川・石井	芦屋・坂井	八野・花井		

B級

年 度	回	優 勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成13年	第1回	古市・諸田	大形・柘植	森川・森川	若林・松浦	72
平成14年	第2回	田岡・三木	笠間・鈴木	中畑・服部	池田・吉岡	39
平成15年	第3回	黒瀬・秋山	岸 ・茂利	西村・梅本	碇谷・大西	32

年　度	回	優　勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成16年	第4回	福井・松野	伊藤・浅野	光部・伊藤	上田・上田	53
平成17年	第5回	坂崎・朝熊	中山・奥山	山本・稲垣	藤田・藤田	32
平成18年	第6回	岸　・茂利	舘　・二宮	中畑・八太	伊藤・伊藤	40
平成19年	第7回	早川・石井	藤堂・吉田	小木曽・小木曽	古市・小林	40
平成20年	第8回	丸山・丸山	古市・小林	柴田・柴田	松岡・久保田	

C級

年　度	回	優　勝	準優勝	第三位	第三位	参加数
平成13年	第1回	佐藤・中野	上山・田中	中世古・藤田	黒瀬・秋山	42
平成14年	第2回	高井・中村	城田・近藤	小林・垣内	杉野・杉野	35
平成15年	第3回	小林・垣内	諸岡・坂田	野崎・高山	藤本・藤本	17
平成16年	第4回	奥田・神谷	渡部・中村	熊崎・下田	渥美・東	33
平成17年	第5回	塚田・山本	柳瀬・村岡	中島・辻	仁科・伊藤	31
平成18年	第6回	新岡・樋口	松岡・松岡	堤　・堤	辻　・辻	24
平成19年	第7回	宇佐美・吉田	中嶋・中本	鈴木・鈴木	渡部・堀	48
平成20年	第8回	平野・海野	辻　・辻	三井・宮崎	當間・森川	

● 鈴鹿ハードコートダブルス選手権大会

男　子　ダ　ブ　ル　ス

年　度	回	優　勝	準優勝	第3位	第3位	参加組
昭和60年	第 1 回	豊田・山下	山崎・稲垣	五嶋・浦和	薮下・渡辺	67
昭和61年	第 2 回	豊田・山下	北川・松岡	早川・稲垣	薮下・甲斐	64
昭和62年	第 3 回	大石・浜西	稲垣・勝田	粟谷・鈴木	薮下・渡辺	68
昭和63年	第 4 回	井口・山下	北川・佐藤	薮下・渡辺	勝田・浅田	63
平成 1 年	第 5 回	伊藤・杉山	薮下・渡辺	山田・吉田	浜西・伊熊	48
平成 2 年	第 6 回	井口・斉木	杉山・林	山崎・谷口	豊田・山下	53
平成 3 年	第 7 回	谷口・遠藤	豊田・アンドル	日口・小宮	前田・宇井	44
平成 4 年	第 8 回	伊藤・林	井口・山下	古市・安川	勝田・吉川	52
平成 5 年	第 9 回	横田・井上	大石・浜西	伊藤・林	井口・北川	76
平成 6 年	第10回	大石・浜西	横田・稲垣	井口・斉木	伊藤・林	49

年　度	回	優　勝	準優勝	第 3 位	第 3 位	参加組
平成 7 年	第 11 回	森下・清水	伊藤・斎木	北村・御薗生	横田・林	59
平成 8 年	第 12 回	樋口・後藤	伊藤・西田	横田・林	高橋・高橋	51
平成 9 年	第 13 回	伊藤・渡辺	横田・林	谷川・鈴木	大石・森川	50
平成10年	第 14 回	高橋・市川	横田・林	山下・豊田	山中・村上	42
平成11年	第15回	村上・森川	横田・林	豊田・山本	樋口・後藤	37
平成12年	第16回	高橋・浅井	谷川・林	鈴木・近藤	伊藤・渡辺	30
平成13年	第17回	谷川・林	山中・森	樋口・後藤	廣田・水谷	18

女　子　ダ　ブ　ル　ス

年　度	回	優　勝	準優勝	第 3 位	第 3 位	参加組
昭和60年	第 1 回	大角・小竹	巌根・佐々木	稲垣・村木	古海・河原	20
昭和61年	第 2 回	中西・佐々木	河本・巌根	大角・小竹	稲垣・渡来	17
昭和62年	第 3 回	河本・巌根	高木・稲垣	杉本・玉邑	浅田・坂口	17
昭和63年	第 4 回	中田・平尾	浅田・坂口	中西・吉川	後藤・湊	16
平成 1 年	第 5 回	豊田・野田	宮河・高橋			11
平成 2 年	第 6 回	高橋・伊藤	藤田・湊	山納・阪	豊田・宮崎	8
平成 3 年	第 7 回	藤田・宝	宮崎・家城	小山・落合	鈴村・渡辺	18
平成 4 年	第 8 回	大鷲・秋山	浅生・宮崎	藤田・林	谷口・湊	25
平成 5 年	第 9 回	藤田・家城	梅原・井上	島村・宮崎	浅生・山田	33
平成 6 年	第 10 回	大鷲・藤田	家城・浅生	草川・加藤	貞光・村田	23
平成 7 年	第 11 回	藤田・杉山	平見・浅生	草川・加藤	島村・家城	22
平成 8 年	第 12 回	島村・鈴木	浅生・山田	中西・宝	田島・田代	25
平成 9 年	第 13 回	田島・中尾	二宮・岩崎	藤田・杉山	菅野・小久保	24
平成10年	第 14 回	田島・中尾	鈴木・杉山	大澤・矢田	藤田・家城	21
平成11年	第15回	藤田・浅生	鈴木・田島	貞光・矢田	杉本・服部	23
平成12年	第16回	藤田・平見	島村・家城	村田・竹中	矢田・福島	15
平成13年	第17回	藤田・平見	島村・家城	土井・東口	矢田・福島	16

郡市対抗を振り返って

平成19年～21年監督　　林　恭史

県民体育大会から みえスポーツフェスティバル(郡市対抗等)に変更になり11年が経過しますが、鈴鹿市は県民体育大会から数えること40回の出場となります。これは、鈴鹿テニス協会の歩みと同じ歴史ある大会です。この栄えある大会に出場するには、代表選手を決定する選考会を兼ねた、鈴鹿選手権シングルス、ダブルス両大会での上位入賞という格付けもなされています。

この郡市対抗は、一般男女(2Ｄ３Ｓ)の５ポイント制、壮年男子(1Ｄ２Ｓ)の３ポイント制、で勝敗を競う団体戦です。普段はライバルで競いあってる選手が同じチームで他郡市のチームと対戦するため個人選とは違いチーム内のコミュニケーションや雰囲気などが非常に大切になってきます、そのため強化部が合同練習会を開催しメンバーの融和を図っています。
選ばれた選手は鈴鹿市のトップレベルであり、鈴鹿市代表というプレッシャーのなかで選手各人が一生懸命プレイし頑張っていただいています。(年度別選手及び結果は別表) また大会に参加された諸先輩や関係者各位それと応援して頂いている皆さんの為にも強い鈴鹿を目指し、これからも以前にもまして、より一層のチームワークとコミュニケーションはかり強い鈴鹿を目指し頑張って行こうと思っています。

これからも応援よろしくお願い致します。

三重県民体育大会鈴鹿市選手団戦績(1)

回	年度	開催地	鈴鹿市（監督）、選手および順位（最終戦対戦成績）			
			成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
24	45	伊勢市	(浜辺)，伊藤猛，吉村，島村，薮下，藤牧 参加9郡市　雨天中止	(浜辺)，町谷，山舗，角谷 参加5郡市　雨天中止	第24回～第27回 少年種目なし	
25	46	名張市	(浜辺)，石黒，渡辺，加藤 1R 0-5伊勢市　9/9	(浜辺)，町谷，山舗，鈴木 2R 1-2津　市　3/6		
26	47	四日市市	(嶋谷)，浜辺，前田，石黒，藤牧，平野 1R 2-3松阪市　9/11	(大谷)，町谷，山舗，小吹，宮本 F 1-2四日市市　2/8		
27	48	四日市市	(嶋谷)，浜辺，石黒，瀬良，前田，六谷， 2R 2-3伊勢市　5/11	(大谷)，小浜，宮本 2R 0-3安芸郡　5/9		
28	49	四日市市	(嶋谷)，浜辺，前田，六谷，近藤，吉村，米田，米田 F 1-4四日市市　2/13	(大谷)，上川原，徳留，橋本 2R 0-3津　市　5/9	(石黒)，早川，玉木，金森，分部 1R 1-2松阪市　5/6	(軸丸)，樋口，七里，杉野，川井 F 2-1久居市　1/10
29	50	四日市市	(浜辺)，白水，伊藤三，吉村，米田，米田 F 1-3四日市市　2/11	(大谷)，田上，田中 SF 1-2四日市市　3/7	(石黒)，関森，小林，分部，早川 1R 0-2四日市市　5/8	(軸丸)，秋元，橋本，杉野，川井 SF 0-3津　市　3/8
30	51	四日市市	(嶋谷)，浜辺，近藤，穴原，渡辺，薮下，吉村，伊藤 SF 2-3松阪市　3/12	(大谷)，杉野，吉村，名和 F 0-3四日市市　2/7	(石黒)，小宮，早川，小林，一木 SF 1-2三重郡　3/9	(竹森)，川井，石渡，瀬古，尾崎 SF 1-2伊勢市　3/7
31	52	四日市市	(浜辺)，米田幸，吉村，伊藤，渡辺，薮下，米川 SF 1-3四日市市3/13	(大谷)，杉野，桜井，石渡 2R 1-2松阪市　5/9	(米川)，小宮，伊藤信，一木，葛山 SF 0-3四日市市　3/8	(大杉)，田中，陸，梅田，酒井 1R 0-3四日市市　5/8
32	53	四日市市	(浜辺)，近藤，伊藤，米川，米田，渡辺 F 1-4四日市市　2/15	(大谷)，吉村，桜井，丸橋 2R 0-3松阪市　5/9	(石黒)，村田，志治，福田，高橋 SF 1-2桑名市　3/8	(大杉)，川崎，梅田，陸，近藤 F 1-2四日市市　2/8
33	54	四日市市	(浜辺)，米田，近藤，伊藤，渡辺，米川 2R 1-4松阪市　5/13	(大谷)，樋口，平林 雨天中止 SF 1-1津　市　1~4/9	(石黒)，志治，坂本，高橋，美濃部 雨天中止 2R 2-1久居市　1~4/9	(大杉)，陸，梅田，近藤，村木 雨天中止 2R 2-1一志郡　1~4/8
34	55	津　市	(薮下)，近藤，渡辺，米田，伊藤，粟谷 F 1-4四日市市　2/17	(大谷)，樋口，平林，三輪 F 1-2四日市市　2/9	(石黒)，志治，須山，杉谷，美濃部 F 0-3四日市市　2/10	(浜辺)，梅田，大友，村木，別府 SF 0-2桑名市　3/10
35	56	伊勢市	(浜辺)，近藤，渡辺，米田，長田，浜西 F 3-0松阪市　1/20	(大谷)，樋口，平林，三輪，古田 F 0-2四日市市　2/12	(石黒)，須山，近藤，水谷，下 F 3-0津　市　1/10	(大杉)，梅田，大友，村木，別府，宇井，石谷 F 2-1四日市市　1/10
36	57	紀伊長島町	(薮下)，米田，村田，伊藤，浜西，渡辺，長田，甲斐 SF 0-3四日市市3/20	(大谷)，三輪，大日方 SF 0-2四日市市3/10	第36回～第37回 少年種目なし	
37	58	名張市	(薮下)，渡辺，米田，伊藤，長田，浜西，村田，米川 SF 0-5四日市市10/2	(大谷)，三輪，大日方，梅田，梅原 2R 1-2四日市市10/1		

三重県民体育大会鈴鹿市選手団戦績(2)

回	年度	開催地	鈴鹿市（監督）、選手および順位（最終戦対戦成績）		
			成年男子	成年女子	成年二部
38	59	四日市市	(薮下)，渡辺，伊藤，浜西，甲斐，北川，長田，井口 2R 2-3 四日市市10／27	(大谷)，三輪，梅田，梅原，村木 F 1-2 四日市市	
39	60	津市 久居市	(薮下)，伊藤，山崎，北川，長田，井口，米川，浜西，浜辺，粟谷 雨天中止	(大谷)，梅田，梅原，村木，大角 雨天中止	第40回より40才以上（成年二部始まる）
40	61	紀伊長島町	(薮下)，伊藤，山崎，北川，井口，浜西，勝田，渡辺 3R 0-3 四日市市10／26	(大谷)，梅田，梅原，大友，大角 SF 0-2 桑名市	浜辺，山中 3R 0-2 四日市市
41	62	四日市市	(薮下)，北川，伊藤，山崎，浜西，大石，勝田，長田 雨天中止	(大谷)，河本，中西，大友，梅田，梅原 雨天中止	井口，山中 雨天中止
42	63	名張市	(薮下)，伊藤，北川，大石，勝田，杉山 3R 0-3 三重郡 10／29	(大谷)，梅原，豊田，野田，坂口，浅田 2R 0-3 四日市市	井口，鈴木，薮下 SF 0-2 桑名市
43	H 1	紀伊長島町	(薮下)，大石，伊藤，杉山，山田，勝田，渡辺 2R 0-5 四日市市10／28	(河本)，梅原，梅田，出岡，豊田 F 2-1 桑名市	山中，井口，北川 3R 0-2 桑名市
44	2	鈴鹿市	(薮下)，伊藤，大石，浜西，谷口，勝田，高橋，杉山　雨天中止 2R 3-1 熊野市　10／6	(河本)，梅田，梅原，大友，湊，出岡 2R 2-0 名張市 雨天中止	井口，北川 2R 2-0 熊野市 雨天中止
45	3	一志郡	(伊藤)，大石，井上，勝田，高橋，森川，杉山 2R 1-3 三重郡 10／26	(河本)，後藤，梅原，梅田，出岡 2R 2-0 伊勢市 雨天中止	井口，北川 1R 3-0 名張市 雨天中止
46	4	度会郡	(伊藤)，大石，北川，林，井上，勝田 3R 0-3 四日市市10／25	(河本)，梅原，梅田，出岡，藤田 SF 2-0 伊勢市 日没中止	第46回より成年二部45才以上に変更 井口，藤沢 3R 1-2 四日市市
47	5	名張市 上野市	(伊藤)，大石，井上，長田，勝田，林，奥野 3R 2-3 桑名市 10／2	(河本)，梅原，梅田，出岡，藤田，平見 F一四日市市 雨天中止	井口，北川 F　0－2　四日市市

三重県民体育大会鈴鹿市選手団戦績(3)

回	年度	開催地	鈴鹿市（監督）、選手および順位（最終戦対戦成績）		
			成年男子	成年女子	成年二部
48	6	紀伊長島町	（伊藤），大石，浜西勝田，林，山本 SF2−3 名張市 10／2	（河本），梅原，梅田藤田，栗原，河本麻 F 3−1 四日市市	井口，北川，薮下 F 0−2 桑名市
49	7	桑名市	（伊藤），大石，後藤清水，林，森下，瀬古 3R2−3 名張市 9／30	（河本），藤田，梅原梅田，栗原，平見，河本麻 SF 2−3 桑名市	井口，北川 F 2−1 四日市市
50	8	名張市上野市	（伊藤），大石，勝田後藤，林，山本，森下 1R1−4 桑名市 10／26	（河本），梅原，梅田藤田，平見，河本麻 SF 1−3 桑名市	井口，北川 SF 0−2 桑名市
51	9	鈴鹿市	（伊藤），勝田，後藤林，瀬古，吉川，山本 2R2−3 津市 10／4	（河本），梅原，藤田平見，田島，河本麻，貞光 SF 0−3 桑名市	井口，北川 SF 0−2 四日市市
52	10	鈴鹿市	（勝田），大石，山本後藤，林，清水，森川 SF0−3 名張市 10／3	（河本）梅原，藤田平見，田島，矢田，田代 3R 1−3 四日市市	井口，北川，長田 F 0−2 四日市市

みえスポーツフェスティバル「テニスの日」郡市対抗テニス大会と競技名変更

53	11	鈴鹿市	(勝田), 大石, 伊藤三 後藤, 林, 清水, 森川 F 0-3 四日市市 9/26	(河本), 梅原, 藤田 平見, 田島, 矢田、 梅田, 福島 SF 0-3 四日市市	井口, 北川, 長田 F 0-2 桑名市
54	12	鈴鹿市	(伊藤), 林, R. アンジェロ 森川, 稲葉, 森下, 清水 SF 2-3 津市 9/24	(河本), 梅原, 藤田 平見, 田島, 矢田、 梅田, 福島 SF 0-3 桑名市	井口, 北川,大石 F 2-0 上野市
55	13	鈴鹿市	(伊藤), 林, R.アンジェロ 森川, 山中, 駒田, 佐藤 SF 2-3 桑名市 9/23	(河本), 梅原, 田代 平見, 田島, 矢田、 梅田, 福島 F 0-3 四日市市	井口, 北川, 長田 F 0-2 名張市
56	14	鈴鹿市	(伊藤), 林, 森川 森下,山中, 水野, 堀内 1R 0-3 上野市 9/23	(河本), 梅原, 藤田 平見, 田島, 池ケ谷 梅田, 田代 F 3-1 四日市市	井口, 北川,大石 F 3-0 名張市
57	15	鈴鹿市	(伊藤), 林, 池ヶ谷 森川,山中, 谷川 1R 1-4 名張市 9/21	(河本), 梅原, 田代 平見, 田島, 森, 梅田, 渡辺 F 1-3 三重郡	井口, 北川, 長田 大石 SF 1-2 桑名市

みえスポーツフェスティバル「テニスの日」郡市対抗大会鈴鹿市選手団戦績(4)

回	年度	開催地	鈴鹿市（監督）、選手および順位（最終戦対戦成績）		
			成年男子	成年女子	成年二部
58	16	鈴鹿市	(伊藤), 林, 森川 大石, 山中, 内山, 平松 2R 1-3 名張市 9/18	(河本), 梅原, 藤田 平見, 田島, 田代 梅田, 森 SF 1-3 四日市市	井口, 北川, 長田 SF 1-2 桑名市
59	17	鈴鹿市	(伊藤), 林, 森川 山中, 内山, 川並, 水野 SF 0-3 名張市 9/23	(河本), 梅原, 藤田 田島, 田代, 曽我 梅田, 浅野 F 0-3 四日市市	長田, 大石, 上田 F 2-0 松阪市
60	18	鈴鹿市	(伊藤), 林, 森川 山中, 内山, 竹内, 安田 2R 1-4 津市 9/23	(河本), 梅原, 藤田 矢田, 田代, 曽我 梅田, 渡辺 SF 1-3 桑名市	長田, 大石, 谷口 SF 1-2 津市
61	19	鈴鹿市	(林), 森川, T、マンツーア 山中, 内山, 竹中 SF 0-3 四日市市9/1	(河本), 梅原, 藤田 矢田, 田代, 梅田 鈴木, 浅野 2R 1-4 多気郡	長田, 谷口, 伊藤 2R 1-2 伊賀市
62	20	鈴鹿市	(林), 森川, 田垣内 山中, 内山, 岡田, 川並 2R 2-3 桑名市 9/13	(河本), 梅原, 藤田 田代, 曽我, 梅田, 服部, 浅野 2R 1-3 伊勢市	長田, 大石, 吉川 F 1-2 四日市市

全国大会出場者表彰一覧

この制度は各年度において全国大会に出場された選手の方を表彰し、選手の励みとなる賞を設けて協会員一同で功績をたたえ、さらなる向上を目指して頂くためにこの制度を2004年度に発足させました。
表彰は、協会関係者が一同に集まる合同委員会兼理事会の席またジュニアについては、総会の席において表彰をおこなっています。各年度の表彰者の方は次の通りです。

各年度	賞名	氏名	全国大会名
２００４	最優秀選手賞	田島雅美	日本スポーツマスターズ複優勝 全日本ベテラン４０OV 複準優勝
	最優秀選手賞	梅田朋子	日本スポーツマスターズ複優勝
	優秀賞	梅原頼子	日本スポーツマスターズ単３位 都市対抗岡山大会　一般女子
	優秀賞	藤田純子	全日本ベテラン５０OV 複３位
	優秀賞	大石敏男	都市対抗岡山大会　OV４５
	優秀賞	上田隆司	都市対抗岡山大会　OV４５
	優秀賞	曽我弘美	都市対抗岡山大会　OV４５ 全国レディース大会　ベスト１６
	優秀賞	平見世津子	全国レディース大会　ベスト１６
	優秀賞	田代千代	全国レディース大会　ベスト１６
	最優秀監督賞	出口芳孝	全国高専大会団体４年連続出場 優勝、準優勝１回
	最優秀監督賞	竹森弘孝	全国高校総体団体女子４年連続出場 男子アベック出場１回
２００５	最優秀選手賞	梅原頼子	全日本ベテラン４０OV　単準優勝
	優秀賞	田島雅美	日本スポーツマスターズテニス優勝
	優秀賞	矢田恵理子	全国レディース出場
	特別賞	郡市総合優勝	郡市対抗男子総合優勝（団体）10名
			伊藤三雄，林　恭史，山中義輝，川並隆

各年度	賞名	氏名	全国大会名
２００５	特別賞	郡市総合優勝	水野大伸，内山道之，森川勝文,大石敏男 長田孝雄，上田隆司
２００６	最優秀選手賞	長田和典	全日本小学生大会　単１６ 全日本Jr１２以下　単16
	優秀賞	梅原頼子	全日本ベテラン４０OV複４単８ 日本スポーツマーズ単４
	優秀賞	北川俊秀	全日本ベテラン５５才OV単１６
	優秀賞	岡田　進	全日本ベテラン７０才OV単出場
	優秀賞	梅田朋子	日本スポーツマスターズ複８
	優秀賞	藤田純子	全国レディース出場
	優秀賞	渡辺裕子	全国レディース出場
	優秀賞	矢田恵理子	全国レディース出場
	優秀賞	川北隆明	ねんりんピックテニス交流大会出場
	優秀賞	山村正和	ねんりんピックテニス交流大会出場
	優秀賞	井口　健	ねんりんピックテニス交流大会出場
２００７	最優秀選手賞	岡田進	全日本ベテラン７５才OV単出場 全日本ローンテニスベテラン７５単複優勝
	優秀賞	梅原頼子	全日本ベテラン40才OV単８、複出場、 マスターズテニス複　準優勝
	優秀賞	梅田朋子	マスターズテニス　単８
	優秀賞	矢田恵理子	全国レディース出場
	優秀賞	北川俊秀	全日本ベテラン５５才OV単出場
	優秀賞	長田祐介	全国中学生テニス大会複出場
	優秀賞	長田和典	全国中学生テニス大会複出場 全日本Jrテニス大会１４才以下単複出場
	優秀賞	森下恵里菜	全日本Jrテニス大会16才以下複出場
	優秀賞	森下大斗	全国選抜Jrテニス大会12才以下単出場 全日本Jrテニス大会１２才以下単出場

各年度	賞名	氏名	全国大会名
２００７	優秀団体賞	千代崎中学	全国中学テニス大会団体出場 ８名
			平野央，長田祐介，土田恭平，川上諒 長田和典，西川徹哉，神山一真,山口大祐
２００８	最優秀選手賞	梅原頼子	全日本ベテラン40OV以上複優勝、単３２
	優秀賞	岡田進	全日本ベテラン７５才以上単複４ 全日本グラスコート７５才以上単４複優勝
	優秀賞	安川淳	全国福祉ねんりんピック全国大会出場
	優秀賞	長岡俊樹	全国高校総体団体、複個人戦出場３２
	優秀賞	加藤大地	全国高校総体単出場３２
	優秀賞	山口賢一	全国高専大会団体、複個人戦４
	優秀賞	上瀧雅巳	全国高専大会団体、複個人戦４
	優秀賞	林久美子	全国高専大会単８、複準優勝
	優秀賞	亀井　遥	全国高専大会複準優勝
	優秀賞	長田和典	全日本Jrテニス大会１４才以下複優勝単１６ 全国中学生テニス大会複出場
	優秀賞	西川徹哉	全国中学生テニス大会複出場
	優秀賞	森下大斗	全国選抜Jrテニス大会１３才以下単１６
	優秀団体賞	鈴鹿高専	全国高専大会団体準優勝　１０名
			水谷直樹，井藤貴文，溝口紘志,鈴木達也 関山大樹，井村洋介，西村祐亮,山口賢一 上瀧雅巳，吉村拓也
	優秀団体賞	白子中学校	全国中学テニス大会団体出場　８名
			浅野風馬，荒木友也，今岡孝太，金成大夢 坂上大綺，野呂駿介，長岡央磨，水瀬成祐

鈴鹿テニス協会設立40周年記念表彰

鈴鹿テニス協会表彰委員会

この度、当協会は、創立４０周年を迎えます。この節目にあたり長年、協会運営にたいへんご尽力いただいた方々をはじめ、鈴鹿テニス協会史において多大な実績と功績をあげられた方々を表彰させていただくことになりましたので、この場をお借りしてご紹介いたします。

＜ 個人表彰＞

大石　敏男

鈴鹿テニス協会主催の各大会に積極的に参加して、好成績をあげると共に、他の選手の目標となり、大会を盛り上げてきた 。また、団体戦では、鈴鹿市チームの中心選手として活躍して きた。

河本美代子

鈴鹿市の女子連において、指導的な役割を続けてきた。団体戦では、鈴鹿市チームの監督としてチームをまとめてきた。ま た、女子の初心者指導を継続して実行している。

井口　　健

鈴鹿テニス協会役員に在任中は、強化担当として、ジュニア選手の育成、指導に尽力した。また、主催大会はじめ、各種大 会に積極的に参加して、大きな実績をのこされました。

大杉　　順

長年、鈴鹿テニス協会役員としてご尽力いただいた。早くから ジュニア育成に対して熱心な指導を続け、全日本ジュニア選手権大会、全日本中学生選手権大会に東海代表として出場、多くの優秀な選手を育てた。

＜団体表彰＞

本田技研テニス部

鈴鹿テニス協会主催の「鈴鹿市長杯ダブルス」の主管団体として、長年に渡り、運営に携わり、当大会が毎年的確に実施されて、協会主催の主要な行事として定着している。

アイ・ドリームス

鈴鹿テニス協会の、ジュニア層に対する指導育成を長年に渡り実施して、ジュニアテニス人口の増加に貢献している。ジュニア大会とミックスダブルス大会を主管して、発展を図っている。

★40周年記念事業

☆記念大会の開催

開催日	平成21年12月13日（日）
（予備日）	平成21年12月20日（日）
開催会場	県営鈴鹿スポーツガーデン

☆記念誌の発行

発行日	平成21年12月13日（日）
発行所	早川印刷㈱

★40周年記念事業実行委員会

☆実行委員長　伊藤　三雄

☆大会委員会　林　恭史　山中　義輝　竹中　真寿美
中西　利雄　川出　喜則　中西　寿恵子

☆記念誌委員会　中西　利雄　川出　喜則　中西　寿恵子
今村　幸司　勝田　成仁　大杉　順
柴垣　寛治　林　恭史　山中　義輝
竹中　真寿美

☆表彰委員会　浜辺　昭雄　大杉　順　中西　利雄

《各委員会から》

大会委員会

鈴鹿テニス協会発足４０週年の記念行事として、記念大会を開催する事にしました。詳細については協会のホームページに掲載します。今大会は沢山の方に参加して頂く様、協会登録外の方にも門戸を広めています。
開催時期は１２月１３日（日）、（予備日１２月２０日（日））となりやや寒い時期になりましたが、楽しく、愉快にできる様に運営を心掛けてまいります。
この記念大会を通じてテニス愛好家の増加に繋がればと思っています。
又、全員に豪華な（？）参加賞をとの事で色々考えております。
乞うご期待！！

記念誌委員会

記念誌委員会では、鈴鹿テニス協会発足４０周年を記念し、これまでの協会の歩みや足跡を次世代に残すため、記念誌を発行いたしました。
記念誌発行にあたり、ご祝辞をお寄せいただいた方々に御礼申し上げますとともに、広告協賛を賜りました皆様、ご協力いただいた関係者各位に御礼と感謝を申し上げます。

表彰委員会

表彰委員会では、この鈴鹿テニス協会４０周年記念にあたり、いろいろ振り返り、それぞれの立場で協会の運営や指導的立場で大きな功績を残された方々、また、県内外で選手としてご活躍され実績をあげられ、協会の発展に寄与された個人、団体を対象に選考させていただきました。

協賛広告

鈴鹿テニス協会創立40周年記念誌には、次の各社より広告の掲載を頂きました。
感謝申し上げます。

（掲載順）

(株)ダンロップスポーツ
(医)斎寿会回生病院
椿会館
HondaCars三重北
AUTOMALL GROUP
SUZUCOMI
大豊産業
魚長
新田内科外科
(学)鈴鹿学園・天澤山龍光寺
(学)宣真学園
みさとテニスクラブ
三重グリーングループ
シンリョー特機(株)
Faith
(株)一十
(株)南条製作所
辻井スポーツ鈴鹿店
(株)大栄管清土木
(株)カンセイ
(株)鈴浄会
(株)鈴友
日進建設(株)
(株)近藤工務店
(株)荻野建設
(株)丸藤建設
鈴鹿医療科学大学
トリックス(株)
HondaCars鈴鹿
焼肉　美寿々
稲垣塗装工業
natural
テーターテート
白子クリニック
新羅会館家族亭鈴鹿店
焼肉たらふく鈴鹿店
佐々木鉄工
コロナ
山口建具店
鈴鹿寝具
川北壽朗税理士事務所
(株)オダ
とうかい整形外科
アコソ総合センター
すしざんまい江島店
留奥内科
彩電館ちかざわ
CutSpace NAGATA
(有)山管工
やきとりとうてんこう
オートハウス鈴鹿
(有)カネキ中村商店
加藤システムサービス
浜口整形外科
駒田医院
鈴鹿市サッカー協会
さわ内科胃腸科クリニック
平田建築
平田一級建築士事務所
明峯堂
総合学習塾パシフィック学院
能力開発ひまわり教室
ロングウッド鈴鹿
焼肉・ホルモン　山麓
ひろせ胃腸科外科
(有)エムシー・プロテクト
瀬古武史税理士事務所
税理士法人三重中央鈴鹿事務所
吉田会計事務所
菅原会計パートナーズ税理士法人
鈴木隆一税理士事務所
髙井正税理士事務所
伊藤徳善税理士事務所
板東秀次税理士事務所
麻生税務会計
市村ペットクリニック
(有)薮内製作所
ナガノスポーツ店
(有)今村ゴム工業所
東部水産(株)
三上歯科医院
林塾
(有)今井硝子
(株)三峰工業
下井茂生
南山木材
三輪板金
炭焼珈琲オリジナル
Bless美容室